COG-PRESEN

β ver.1.o.0

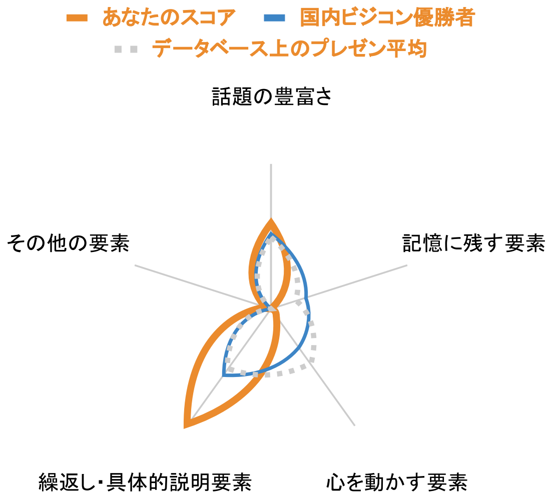
AIによるプレゼン・Pitch分析　フィードバックレポート

解析対象：　立憲民主党_公約

解析日：　2022/07/06

国内ビジコン優勝者との構成類似度

プレゼン内容の構成バランス



聴衆に印象を残せた話題ランキング

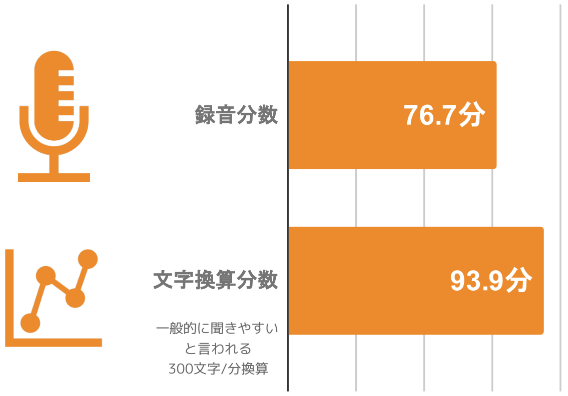
1	増える、増えないというのは、両方ありうる
2	10時にネット投票法案を提出いたしました
3	国民目線、生活者目線だからこそ出てくる発想
4	それは、あの、自民党さんに聞いて
5	安全性が問われるわけですので、あくまで我が国の基準
6	政策集の中に書かれているものがある
7	経済、そして産業、安全保障、これは真っ正面から
8	未来世代の立場から検証して、そして、提言
9	財政の健全化に向けては、非常に、重要な一歩
10	立憲民主党、え、この夏2022参議院選挙の公約、え、発表

【あなたのプレゼンの情報量】

△ **少し詰め込みがち**

あなた側の話量は94分が適切と判定されました

一般的なプレゼンと比較して、時間の割に情報量が多めです

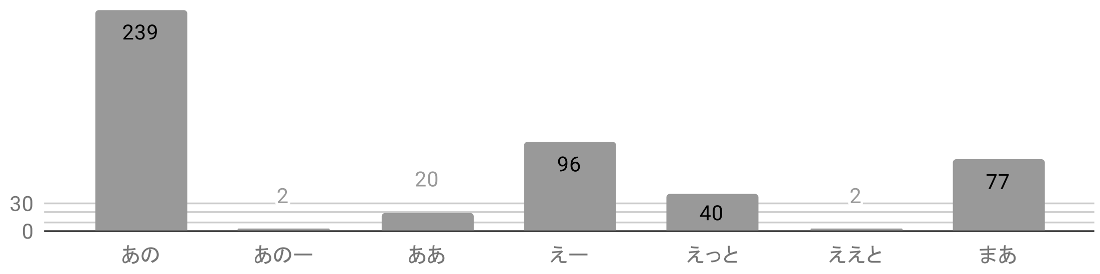


COG-PRESENは、AI技術で営業プレゼンを解析し、その特徴とより改善できる点を検出するものです。過去に分析した30,000人のコミュニケーションデータと、国内のビジネスコンテストのファイナリスト・優勝者のプレゼンを分析し、その傾向と比較できるようにしました。各項目で検出されている内容について、自分の過去レポートや他の方のレポートを横に置いて、今回のプレゼンとの違いを理解し、より効果的な営業プレゼンについて考える機会にしてください。
「一般的な人が聞こえた」レベルに文字起こしされていますので、雑音の多い環境や、はっきりとした発音でない場合は＊＊＊で示されています。その場合でもこのAI分析は、固有名詞ではなく内容の構成を分析しているため、分析結果に大きな影響はありません。

プレゼン中のトークのクセを確かめよう

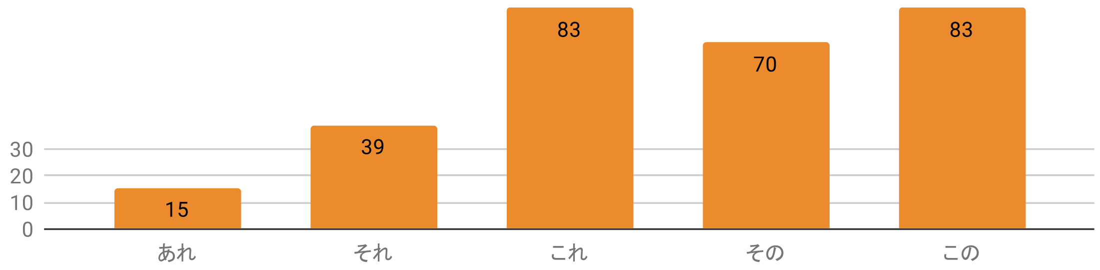
【CHECK1】自信が無さそうに聞こえる表現をしていないか？

ここでは、プレゼンのクセとして、あなたがしゃべった「フィラー」を検出しています。
一般的に「フィラー」の多いプレゼンは、自信がなさそうに聞こえます。
1回のプレゼンで20回以上出ている語句は、あなたの「クセ」である可能性が高いため、意識して抑えましょう。



【CHECK2】指示語がどのくらい使われているか？

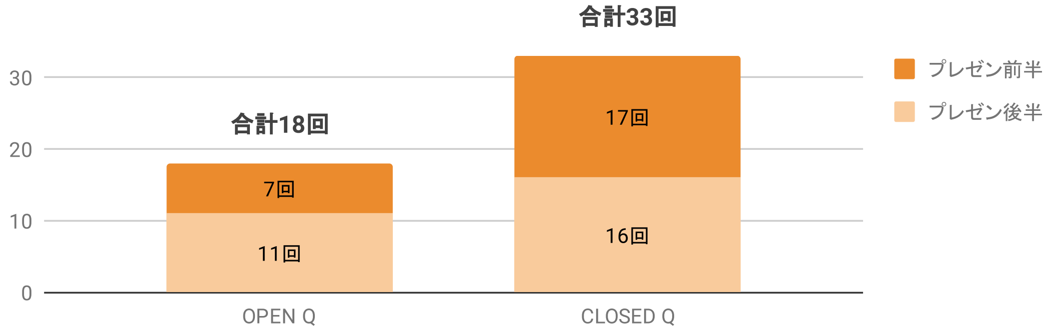
ここでは、あなたがしゃべった「指示語・こそあど言葉」を検出しています。
短時間で伝えるピッチや、オンラインでのプレゼンなどにおいて指示語を多用すると、
聴衆の理解と合致していない可能性が高まります。
1回のプレゼンで20回以上出ている語句は、あなたの「クセ」である可能性が高いため、意識して抑えましょう。



当事者意識を引き出す「問いかけ」を確認しよう

【CHECK3】聞き手に問いかけ・呼びかける表現があるか？

ここでは、自分からの「問いかけ」について
5W1Hを尋ねるようなOPEN質問と、単純にYes/Noを問うCLOSED質問に分けて回数を検出しています。
また、一つの問いが長文でなされているか、短い分でなされているかも特徴が出ます。
「話順」で示されている数字は、CHECK12の話順と同じものです。前後の流れを確認してみましょう。



問いかけ文の長さ（平均）

41.8語

話順	質問種	問いかけ・呼びかけ
1	CLOSED	ソウデスカ＊、じゃ、いいですか、広げていいですか？
1	CLOSED	代表＊ますか？
1	CLOSED	すいません、もう1度こっちのほうもお願いできますか？
1	CLOSED	オーケーですか？
1	CLOSED	すいません、こちらもいいですか？
2	CLOSED	こっち？
2	CLOSED	こっち？
2	CLOSED	ヨロシイ＊ですか？
2	CLOSED	＊よろしいですか？
32	CLOSED	＊としては、その、相手領域内への攻撃、いわゆる矛と盾、矛の能力を持つことについて、＊？
32	CLOSED	安定領域？
32	CLOSED	相手領域？
32	CLOSED	相手領域？
34	CLOSED	＊今の安全保障に関わる部分なんですけれども、すみません、安全保障に関わる部分なんですけれども、あの、今回ですね、まあ、あの、ウクライナ情勢とか、あの、サイバー攻撃とか、新しい文脈とともに、まあ、政権を担っていくっていうところでの、ま、責任感、責任から、あの、打ち出されたということだったんですが、あの、ま、党内でも色んなお考えがある中でですね、今回の公約にイタ＊、あの、打ち出される、至るまでの経緯、ま、あの、党内での議論っていうの、どうご覧になったのか、ここで、また立憲としての、立憲ならではの安保っていうのは、どういうふうに打ち出されるお考えだったのか、あの、そこらへんの、あの、お考えをお聞かせいただけますでしょうか？
35	CLOSED	あの、＊民主系でいうと、あの、これ10何年ぶりのコト＊なのかなっていうふうに理解しているんですけれども、あの、その中で市民参加の行政改革っていうのを入れられたりとかですね、選ばれた政策、あの、この、どうしてここを選ばれたのかとかですね、また、あの、一連の流れは青空集会などでですね、皆さんが、まあ、声を聞くっていう形を、この半年、取られてきたと思うんですけども、そういったところッテイウノ＊、連関ていうところが、もしあるようであれば、お聞かせいただけますでしょうか？
37	OPEN	他にいかがでしょうか？

37	OPEN	この中で、どのようにメリハリを効かせるのか、優先順位を付けていくのか、あの、選挙でどう説明＊＊＊？
37	OPEN	他にいかがでしょうか？
41	OPEN	改めて、第1管区中心に、知床の件も含めて、え、公約の中にはないかもしれませんけれども、いかがお考えでしょうか？
41	CLOSED	はい、あの、公約でいうとですね、10ページ、11ページのところの、え、これ、ピンク色でいいんですかね？
43	CLOSED	まだ動いているんで、政治の方からあの、発言はありませんが、第1管区の体制が、まあ、あんまり、第3なんかと比べると、整備が少ないっていったことも、ちょっと知床の件で、今後考えなければいけないとお考えでしょうか？
45	OPEN	この件に関して、ちょっと賃上げは、あー、もうあまり期待できないという認識のもとなのか、あまりその基本、えー、物価のことだけ考えてるッテ＊形でしょうか、いかがでしょう？
46	OPEN	それでいて、まあ、代表としては、あー、政権交代目指して、まあ、2番、3番といったことが、まあ、入っているんじゃないかと思うんですけれども、そのへんはいかがでしょうか？
47	OPEN	他にいかがですか？
49	CLOSED	＊、政調会長、もしあれでしたら、よろしいですか？
49	CLOSED	えっと、ご質問は、これ全部チュウ＊ことですか？
49	CLOSED	あ、教育のとこだけ？
49	OPEN	それどう賄い＊？
49	OPEN	どうやって＊？
50	CLOSED	これどっか盛り込まれてます？
50	CLOSED	教育国債を発行するというのは、えっと、掲げられない＊？
51	OPEN	あ、ごめんなさい、えっと、この前のインターネットの番組でも代表、教育国債っておっしゃってたような気がしたんで、これ、あの、言わなくなった理由はなんで＊？
52	OPEN	ニ＊点お伺いしたいんですが、一点目は原発なんですけれども、新増設を認めないとありますが、これは、建て替え、リプレースについてのお考えはどうでしょうか？
52	CLOSED	えっと、一点？
56	OPEN	えー、もっと未来、良い未来に向けともに歩みましょう、というのは、えー、誰に向けて、えー、おっしゃってんのかと、ま、ウラジミールと同じ未来を見ちゃう、見ちゃって、かけて、かけて、かけ抜けると、とんでもない結果になっちゃいますが、いかがでしょう？
58	CLOSED	え、新三本の矢、あったの覚えてらっしゃいます？
58	CLOSED	はい、それで、ご質問は？
58	CLOSED	新三本の矢が、また、旧三本の矢に戻ったっていうことなんでしょうかね？
61	OPEN	さて、どちらが聞く耳を持つだとお考えでしょうか？
62	CLOSED	何ディー＊？
68	CLOSED	＊で、なんかあるんですか＊？
69	OPEN	え、国策として、何をしていかなきゃ？
75	OPEN	あの、この、被選挙年齢をですね、18歳に引き下げることによって、この、政治や民主主義にですね、どのような変化が起こると、期待する、ヨ＊、と考えられてますでしょうか？
85	CLOSED	ご質問のある方は挙手をいただけますか？
88	CLOSED	このタイミングになった理由、何かありますでしょうか？
90	OPEN	じゃあ、あの、今おっしゃっていただきましたけど、現行のその仕組みの中で、党首討論をやることの意義、その、今の党首討論の、その、まあ、意味合いというか、あ、やることの意義、意義付けについて、代表今どう考えてますか？
91	CLOSED	ま、あの、他の選挙区では、あの、ま、競合するところも、ま、結構残るということになりましたけれども、これについての受け止めをお願いします？
94	OPEN	防衛費の適正規模はどのぐらいだとお考えでしょうか？
94	CLOSED	＊その積み上げていく中で、あの、検討というか、今後見えてくるという？
95	OPEN	あの、国と政府はですね、弾薬の、ま、あの、確保というところで備蓄についても予算が足りないと主張していますが、その点についてはどうお考えでしょうか？
95	CLOSED	優先度っていうのは＊？

プレゼンの情報構成と、説明の過不足を確かめよう

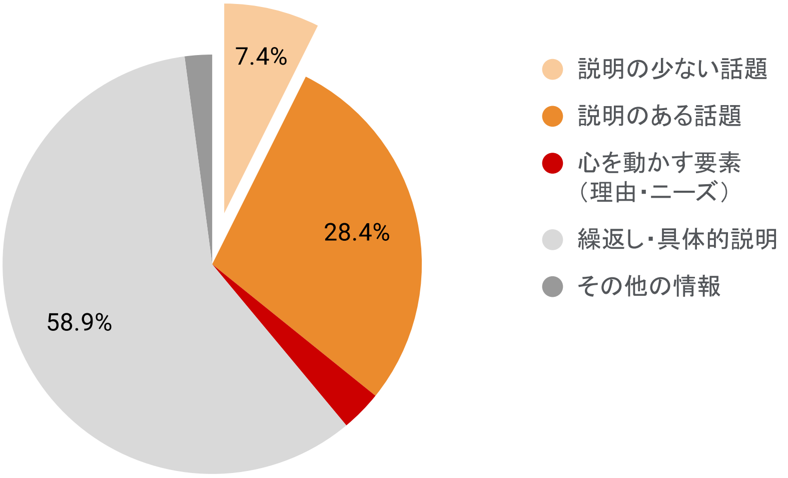
【CHECK4】プレゼンの説明構成を確認

ここでは、プレゼン内で出された話題について、
論理的な情報を補足・掘下げて話し合われた割合がどのくらいあるかを示しています。

主にどのような話題が話され、しっかり説明できていない話題は何か確かめましょう。
（説明の少ない話題に　挨拶などが列挙されている場合は気にする必要がありません）
自分の過去のプレゼンや、他の人のプレゼンと比較してすると、あなたのクセ・傾向がわかります。
どの話題にどう説明したかは、次ページのCHECK4で確認できます。

しっかり説明がある話題数　27トピック

もう少し、理由や根拠の掘下げが必要そうです



話題の数　34件

話順	説明の少ない話題　7件	話順	説明のある話題　27件
20	どういった、あの、意識とかがあったか	3	立憲民主党、え、この夏2022参議院選挙の公約、え、発表
25	安全保障においても、そして産業や経済政策においても、我々が真正面から語って	4	政策集の中に書かれているものがある
34	基本的には、えー、党の中にですね、えー、各調査会を設置	22	可処分所得の観点から、購買力の観点から経済を見る
46	政権交代目指して、まあ、2番、3番といったことが、まあ、入って	24	国民目線、生活者目線だからこそ出てくる発想
58	それは、あの、自民党さんに聞いて	27	予算委員会でも述べたアコードの見直し
61	定額ということでの無償化	29	オリジナルの防衛政策というものを構築していく
85	基本的には国対に聞いていただく	33	緻密な議論を重ねて、え、何が出来て何が出来ないのか
		35	公募というのも1つの意見を聞く手段
		38	自衛隊員の待遇、処遇の問題についても、もっと予算をかけるべき
		40	増える、増えないというのは、両方ありうる
		41	人命救助という観点で、注力をしなければいけないエリアというのはある
		45	いちだんの政策の強化が必要

47	子どもに対する支援はできるかぎり普遍的であるべき
49	ベーシックサービスを行きわたさ、らせるということが、優先すべき
54	立憲民主党は自民党に代わり、我が国の政権を運営
55	近い将来化石燃料や、原子力発電に依存しない社会を目指す
56	安倍政権においての、対露外交というのは大きな誤りがあった
60	日本政府がやっぱり主導していく必要が
64	安全性が問われるわけですので、あくまで我が国の基準
68	直接支払交付金をですね、法制化、コウキュウ＊化という結論
70	原子力に依存をする形ではない、え、方策
73	未来世代の立場から検証して、そして、提言
74	財政の健全化に向けては、非常に、重要な一歩
76	多様な、ああ、視点からの議論の行うこと
84	10時にネット投票法案を提出いたしました
93	野党による、うー、カイセン＊過半数の確保を目指して
95	優先度の高いところから、え、整えていく

【CHECK5】各話題の説明量・内容

ここでは、プレゼン内で出された話題について、論理的な情報を補足・掘下げて話し合われた箇所を抽出しています。
ただし、掘下げの掘下げ・掘下げの理由付けなど、ストレートではない話題は、
聴衆にも伝わりにくくなる複雑な話題構成のため省略されています。
ここでは、話題に対して　直接補完した話題が何なのかの列挙がされています。
何の話題をしっかり説明できていたかを振り返りましょう。
話順で示されている数字は、CHECK5の話順と同じものです。前後の流れを確認してみましょう。

何らかの掘下げをした話題数　27話題

話順	話題種	トピックサマリー	プレゼン内容 （参考として各話題の冒頭のみ掲載）	
3	説明のある話題	立憲民主党、え、この夏2022参議院選挙の公約、え、発表 ↓	それでは、参議院選挙公約について発表を行います。 まず、イズミ代表からご説明致します。 話者A：はい。 え、おはようございます。 え、皆様のお手元に、公約集配らせていただきました。 立憲民主党、え、...	
6	具体的説明	30年間の衰退と、格差拡大を、おお変えたい	で、あの、この中でですね、ええ政調会長からも、昨日も少し、あの事前に説明はさせていただいてますが、3ページ目ですね、ええ、前文というか、我々としてのリード文、載せています。 で、やはりこの中で、ええ、30年間のこの、我が国のまあ、衰退、そして格差拡大、こういった問題意識を、おお強く持って、まあそれを打破すると、この30年間の衰退と、格差拡大を、おお変えたい、改革したいというのが、我々の生活安全保障...	
9	具体的説明	着実な、あくまで真に必要な防衛力	ええそして、安全保障についても、やはり同様だと思います。 国家目線で、ええただ、ああ、軍備を増強するという考え方ではなくて、まさに国民の命、平和を守るという観点から、ええこれも予算委員会で質疑もさせていただきましたが、例えば、国民保護、ええこういった点については、ああ政府は全く無策であると、いうことが明らかになりました。 改めて国民の命を守るために、ええ限られた国家予算の中で、ええどのように、防...	
4	説明のある話題	政策集の中に書かれているものがある ↓	そして更に、ま、あの、冊子化すると膨大なページ量、100ページを超えるものになる、いわゆる政策集というものがあります。 え、これを含めて網羅的に、我々として、この政策ということになります。 え、ですか...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
11	具体的説明	経済、そして産業、安全保障、これは真っ正面から	ええ、さてですね、この3項目を中心に、ええ、4から10ですね。 医療、健康、コロナ対策、そして雇用、年金、ベーシックサービス、え、経済、産業、イノベーション、環境エネルギー、地域農林水産、災害対策、人権、女性、障害、多様性、政治、行財政改革ということを、おお、書かせていただきました。 どれも重要な項目であり、我が党は、あ、調査会を設置をして、え、その中で集中的に、え、また、民間有識者も交えながら、...	
20	説明の少ない話題	どういった、あの、意識とかがあったか	で、あともう一点がですね、あの、代表は代表戦の時から、えー、ま、支持層を広げる、ウィング広げるっていうことを、あの、おっしゃってきたと思うんですけれども、ま、今回の、あの、生活安全保障っていう言葉も含...	←説明が足りないかもしれません
	説明無し			
22	説明のある話題	可処分所得の観点から、購買力の観点から経済を見る ↓	えー、現にこれを年換算すれば国民生活の負担は間違いなく数万円単位で高まっていくと、生活が圧迫をされる、消費が圧迫をされる、いうことに対して、我々立憲民主党は、えー、年金について、えー、支援給付金、これ...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう

19	具体的説明	どういったところが、より、あの、顕著に対立軸になっていく	えー、質問挙手いただいて指定された方、後ろのスタンドマイクでご質問ください。 ではマイニチ新聞さんからどうぞ。 話者A：えー、マイニチ新聞のミヤハラです。 えっと、先ほど冒頭発言のほうでも、あの、公約についてですね、あの、生活目線であると、で、あの、国家目線とは違うっていうところを、えー、あげてらっしゃいますけれども、ま、今回の参院選でのですね、あの、対立軸ですね与党との、ま、あの、そういったこ...	
21	具体的説明	経済においてより顕著に、えー、今見られている	えー、まず、ま、この生活目線と国家目線、ま、先ほども少しお話をしましたけども、経済においてより顕著に、えー、今見られていると思います。 あの、帝国データバンクの調査で、ま、最初は3千品目と言われていた物価高が、今1万品目に達しようとしていると今日発表もあったと思います。 ま、それぐらいに物価が上がっているにも関わらず、今の、ま、金利ですとか、また円安の状況について無為無策なのが岸田政権であります。...	
24	説明のある話題	国民目線、生活者目線だからこそ出てくる発想 ↓	え、周辺環境の、ま、緊張緩和させる取り組み、これは対話外交で行なっていくべきことでありますし、ま、それに加えて、ええ、我が国が防衛力を増強するということは、当然周辺国もそれ以上に防衛力を増強する可能性...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
23	具体的説明	対話外交ということがまず大前提	話者A：ま、大きく、あの、そこが目線が違う部分だと思います。 ま、そして、ええ、この安全保障政策においてもですね、ええ、これも先ほどの話にあったように、あの、ただ単に＊あの、いわゆる防衛力を、防衛費を高めていけば、国民がただ安全になるというほど、え、この世界は簡単ではない、ということをもっともっと我々訴えていきたい。 ですから、真に国民を守るというのは、どういうの、どのようなことなのか、これは対話...	
25	説明の少ない話題	安全保障においても、そして産業や経済政策においても、我々が真正面から語って	話者A：支持層の拡大の部分について＊。 話者A：あ、すいません、はい。 支持層の拡大、あの、これはまあ、政党であれば、支持層の拡大は当然のことですので、あらゆる努力をしてですね、拡大をしていく。...	←説明が足りないかもしれません
	説明無し			
27	説明のある話題	予算委員会でも述べたアコードの見直し ↓	ま、ですので、手法ってのは様々あって、それは我々が予算委員会でも述べたアコードの見直し、ええ、共同声明の見直しですね、あるいは見直しを検討するということ、そのもののメッセージも、また、ええ、何かしら市...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
26	具体的説明	アベノミクスを脱却をする、見直しをする	政策についてもう一点なんですけれども。 あの、異次元の金融緩和の見直し、ええ、市場との対話を通じながら見直しを進めますっていうことを、ええ、おっしゃってますけれども、え、こちら、具体的にどのように見直していくかっていうところをお願いします。 話者A：はい、ありがとうございます。 あの、ま、アメリカ、ヨーロッパが次々と金利、ま、利上げですね、に動く中で、この金利差もまた円安の一つの要因だと言われ...	
29	説明のある話題	オリジナルの防衛政策というものを構築していく ↓	しかし日本とウクライナは決して同じ環境ではない、それは両国ともロシアの隣国ではあるけれども、え、ウクライナはアメリカとの安全保障条約やNATOとの安全保障条約を有していたわけではない国でありますし。 ...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
28	具体的説明	ウクライナ情勢によってですね、国家安全保障という事は大きく注目	話者A：東京新聞さん、どうぞ。 そのあと朝日新聞さん、ドウゾ＊。 話者A：＊のイノウエです。 あの、今回の公約の＊なんですけれども、あの、昨年の衆議院選の後から今まで、これ、あの、代表、＊代表になってから＊重なりますが、大きな変化として、やはりロシアによるウクライナの＊があるとオモイ＊ます。 あの、そのウクライナの問題というのが、今回の公約を作るにあたって、どのような影響を与えたのか、また、あ...	

33	説明のある話題	**緻密な議論を重ねて、え、何が出来て何が出来ないのか** ↓	あの、決して、えー、何か、こう、やったらやり返すとかですね、あの、概念的な話だけでは済まない、法律的に、また、憲法、ま、これ、あの、岸田総理も、あの、国会答弁で述べてますが、えー、当然ながら憲法ですと...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
31	具体的説明	**サイバー、宇宙、電磁波というものを活用して、何ができるのか**	まあ、改めてですが、あの、敵の攻撃を防ぐ手段、で、これは様々あってですね、え、立憲民主党として言えば、まあ、従来のミサイル防衛ということは当然、え、能力の変化に対応して、え、改善をしていかなければいけないというところがありますし。 またサイバー、宇宙、電磁波というものを活用して、何ができるのかというケントウ＊はですね。 話者A：やはり、しなければいけないと思っています。...	
34	説明の少ない話題	**基本的には、えー、党の中にですね、えー、各調査会を設置**	あの、大きく2点、公約について＊させて下さい。 ＊今の安全保障に関わる部分なんですけれども、すみません、安全保障に関わる部分なんですけれども、あの、今回ですね、まあ、あの、ウクライナ情勢とか、あの、サ...	←説明が足りないかもしれません
	説明無し			
35	説明のある話題	**公募というのも1つの意見を聞く手段** ↓	話者A：もう1つがですね、あの、今回、公募の、あの、公約の中で公募の、あの、形式を取られたと思います。 あの、＊民主系でいうと、あの、これ10何年ぶりのコト＊なのかなっていうふうに理解しているんですけ...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
36	具体的説明	**デジタル時代に合わせた、あの、合致した取り組み**	先日も、あの、私は台湾のオードリータン大臣とオンラインで対談をさせていただいて、えー、その中でも、オードリー大臣が言ってたんですね、台湾にもこのような国民発案件があって、えー、5000人の署名を集めて、ネット上で、えー、署名を集めてですね、そして、えー、政府に出すことによって、それについて政府が回答をするという取り組みが進んでいるということでありまして。 あの、4年に1度の選択とか、その、議員立法...	
38	説明のある話題	**自衛隊員の待遇、処遇の問題についても、もっと予算をかけるべき** ↓	で、また、それによってですね、えー、それこそ、先日ジミン党のオノデラ議員が予算委員会で質問していましたが、我々も本来整備ですとか、自衛隊の隊舎ですとか、こういった自衛隊員の待遇、処遇の問題についても、...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
37	具体的説明	**爆買い、これはやっぱり改めるべき**	話者A：他にいかがでしょうか？ ニッケイ新聞さんどうぞ。 話者A：ニッケイ新聞のオオサワと申します。 安全保障についてお伺いします。 えっと、防衛費のところのですね、メリハリのある防衛予算で、防衛力の質的向上という文言をとられていると思うんですけれども。 で、あの、今整備が必要なところで言うと、サイバー、新領域や、ま、ミサイル防衛の迎撃能力の向上などですね、ジミン党の提案してるものと見ても、ま、...	
40	説明のある話題	**増える、増えないというのは、両方ありうる** ↓	話者A：代表、以前はですね、ま、現在の安全保障環境をみれば、結果的に防衛費というのが増えていく方向にあるという、ご見解を示されていましたが、それについて、まあ、防衛費への考え方、改めて教えてください。...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
39	具体的説明	**海保の、その、体制強化、ここも重視をすべき**	話者A：海上保安庁の予算ですね、で、これも、加えて、え、いわゆる防衛費ということも、算定を行っております。 立憲民主党は、あの、領域警備法、海上保安法、あ、立憲民主党のその、領域警備法海上保安庁強化法、この中では海上保安庁の、え、強化計画、これも策定するべきだといっておりますので、海保の、その、体制強化、ここも重視をすべきだと思いますね。...	
41	説明のある話題	**人命救助という観点で、注力をしなければいけないエリアというのはある** ↓	話者A：他にいかがでしょうか？ ミヤザキさん、どうぞ。 話者A：え、初めまして、ミヤザキのコユキ＊です。 まず今のあの、話の続きですが、海上保安庁に関してですけれども。 あの、まあ、知床遊覧船の事故...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう

42	具体的説明	管区ごとのですね、え、穴のない、もれのない体制を作る	一方で、なんらか船が運行されていて、え、当然ながら、あ、それが事故があればですね、命の危険にさらされる可能性があるということであれば、この日本、海に取り囲まれている我が国において、いかに空白地域を作らないのかということで、え、改めて体制を組み直すと、いうことも必要ですし。 その救助が最低何分で辿り着ける、という体制を構築できるかどうか、これも問われると思います。 特に日本、南北長いわけですから、南…	
45	説明のある話題	いちだんの政策の強化が必要 ↓	この件に関して、ちょっと賃上げは、あー、もうあまり期待できないという認識のもとなのか、あまりその基本、えー、物価のことだけ考えてるッテ＊形でしょうか、いかがでしょう？ 話者A：あの、賃上げは期待でき…	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
44	具体的説明	賃金スライド、物価スライドすればいいのではないか	話者A：それから、あの、まあ、参議院から岸田インフレというふうな表現が出て、まあ、公約の中ではあくまでも、えー、一番、物価高と戦うということですけれども。 これ、岸田インフレに関して、あの、岸田賃上げと言いますか、あの、インフレをしてもその後賃上げ、その分のが賃上げがあって、で、まあ、年金が、あ、賃金スライド、物価スライドすればいいのではないかという考え方が、最近主流になっているかと思います。…	
46	説明の少ない話題	政権交代目指して、まあ、2番、3番といったことが、まあ、入って	話者A：じゃあ最後ですけども、あの、まあ、政権交代を目指しつつ、目先の参院選で勝たなければいけない。 特に、ま、少なくとも比例で野党第一党にはならなきゃいけないということで、まあ、政策懇談会で若干時間…	←説明が足りないかもしれません
	説明無し			
47	説明のある話題	子どもに対する支援はできるかぎり普遍的であるべき ↓	話者A：他にいかがですか？ アサヒ新聞さんで、次はホッカイドウ新聞さん。 話者A：エット＊、アサヒ新聞のキハラです。 えっと、2番の教育の無償化のところについて伺います。 あの、冒頭、イズミ代表触れ…	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
48	具体的説明	支援としてこの児童手当を、私は据えるべき	そしてもう一つは、あー、やはりこの児童手当の、ある、ある種一つの限界というのは、まあ、前年度の所得によって給付が決まってくる、いうことによって、あー、例えばコロナで家計が急変してもですね、前の年度の収入があるということで、えー、所得制限がかかりですね、えー、児童手当を受け取れないという世帯も出てくる。 やはりそうすると、おー、今の生活の苦しみに控除が何も寄り添えないということにもなってしまうという…	
49	説明のある話題	ベーシックサービスを行きわたさ、らせるということが、優先すべき ↓	話者A：あの、もう一点、えっと、財源の話なんですけれども、えー、この経済的支援の拡充と予算の確保ということをすると、えっと、どれぐらいの、年間で予算が必要になり、それをどう賄うという計画なのか、その点…	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
50	具体的説明	国債も含めて、あの、財源的にそうしたことを、ま、使っていく	話者A：あの、教育国債の発行というのは、えっと、私の記憶だと、代表もおっしゃってたような気がするんデス＊。 これどっか盛り込まれてます？ ちょっと見つからなかったんですけど。 話者A：＊。 話者A：えっと、言葉として教育国債というネーミングは、あの、あえて入れてませんが、さっき申し上げた意味では、とにかく給付をまず先行させるという意味で、国債に、ま、当面頼るということはあり得ることだと。 ま、…	
54	説明のある話題	立憲民主党は自民党に代わり、我が国の政権を運営 ↓	話者A：はい、あの、ま、二件あった、二件目の方私答えて、一件目の方はあの、これまでの経緯少し、あの、政調会長に話をしてもらいたいな、と思います。 えー、ま、コア、中道、ひとつひとつこれがコアでとか、こ…	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう

53	具体的説明	コアと中道のバランスというのをどのように、トッタ＊のか	話者A：もう一点なんですけれども、えっと、代表、二月の党大会で、コアをかためながら中道の立ち位置までウイングを広げるとおっしゃっていました。えー、今回のこの公約ですと、ま、安全保障なんかについては、えー、わりと中道向けだったと思うんですけれども、コアに関しての部分なんですが、例えば自衛隊の9条の明記するという自民党案には反対するということが盛り込まれていますけれども、そのあたりの、この、コアと中...	
55	説明のある話題	近い将来化石燃料や、原子力発電に依存しない社会を目指す ↓	話者A：はい、えっと、原子力政策ですが、公約集の15ページの下段をご覧いただきたいと思います。 ここに原子力発電所の新増設は認めませんと、明記しておりまして、これには基本的にリプレイスを含むという理解...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
52	具体的説明	建て替え、リプレースについてのお考えはどうでしょうか	話者A：＊新聞のソデヤマ＊です。 二＊点お伺いしたいんですが、一点目は原発なんですけれども、新増設を認めないとありますが、これは、建て替え、リプレースについてのお考えはどうでしょうか？ 話者A：えっと、一点？ 話者A：まず一点。 話者A：ハイ＊。 話者A：ハイ＊。 話者A：はい、どうぞ。...	
56	説明のある話題	安倍政権においての、対露外交というのは大きな誤りがあった ↓	話者A：そろそろ、公約の、＊＊＊、をまとめていきたいと思いますが、あー、では、フランステン＊さん、それから、あー、ニッテレさん、まずいきますか。 話者A：えっと、フランステン＊の、えっと、フランステ...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
57	具体的説明	総括、これはやっぱりやっていかなければならない	ま、かつて、あの、一帯一路に対してもですね、えー、非常にこう、前向きな、ま、言葉を安倍総理も出したことがありましたけども、ま、そういうものの総括、これはやっぱりやっていかなければならないと思います。 岸田政権においては、あー、そういった後ろめたさがあるのか、ロシア、中国とほとんど今度は何も語らなくなってしまっているということは問題であるとは思います。 ただ、あの、ここで書いている我々の、もっと良い...	
58	説明の少ない話題	それは、あの、自民党さんに聞いて	話者A：ア＊、国民の皆様に対して言っていると言うことになります。 はい。 話者A：ありがとうございます。 え、続いて、えっと、予算委員会でも説明、え、していらっしゃいますが、アベノミクス。 え、新三...	←説明が足りないかもしれません
	説明無し			
60	説明のある話題	日本政府がやっぱり主導していく必要が ↓	あの、ま、大きくは、核軍縮、そして、一般兵器の軍縮、また、あ、さまざまな危険な兵器についての、ま、使用を禁止する条約などですね、ま、国際社会の中、あ、国連の各機関等々も通じてですね、え、日本政府がやっ...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
59	具体的説明	軍縮政策、どのようなものを考えていらっしゃるのか	話者A：続けまして、えっと、36種類あるピンクの、ピンク色のうちの1つで書かれた、防衛費について。 で、ま、防衛費については、え、えっと、防衛費を国土の面積で割ると、ま、日本は突出しています。 えっと、軍縮ですね。 え、軍縮政策、どのようなものを考えていらっしゃるのか、え、お伺いできればと思います。 話者A：はい。...	
61	説明の少ない話題	定額ということでの無償化	話者A：えっと、教育無償化、え、ま、高校授業料無償化、所得制限なし、となると、ま、あの、府知事が大阪では、大阪だけ、え、高校授業料無償化実現できてると仰ってますが、ベネッセコーポレーションの調べによる...	←説明が足りないかもしれません
	説明無し			
64	説明のある話題	安全性が問われるわけですので、あくまで我が国の基準 ↓	ま、ですから、あの、少なくとも今我が国のですね、えー、規制基準を何か緩めたり、手続きを、おー、飛ばす形で、えー、再稼働をするなんていうことは、私はあってはならないと思います。 あくまで、我が国は、これ...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう

No.	種別	話題	発言	
62	具体的説明	**原発を含むエネルギー政策について、何か緩和**	話者A：＊、そのあと＊のミヤジマさんと、はい、コヤマさんと、続きで。 あ、＊。 話者A：すいません、ニホンテレビのエグチと申します。 エネルギー政策についてお尋ねします。 話者A：ごめんなさい。 何ディー＊？ 話者A：エネルギー政策についてお尋ねします。 話者A：あ、エネルギー政策、はい。 話者A：えっと、ウクライナ情勢を受けて、＊のエネルギーの資源の輸入禁止など、え、あの、ありますが。...	
63	具体的説明	**使うべきという声もあれば、一方で**	ま、このウクライナ情勢において、えー、原子力発電っていうのは両面あって。 ま、あの、化石燃料の、ま、流通が滞り、エネルギー価格が上がるので、ま、使うべきという声もあれば、一方でやはりザポリージェ、ザ、ジャですか、あー、原発、あるいは、ま、チェルノービリとかですね、えー、そういう形で攻撃を受けるということでの危険性のことが指摘をされている。...	
65	具体的説明	**中長期的にやはり考えると、再生可能エネルギーの比率**	そして、中長期的にやはり考えると、再生可能エネルギーの比率をいかに高めていくか、また、省エネルギーをいかに技術革新を、あの、促進させるか、こういうことのほうがですね、ま、かつてオイルショックの時に我が国が、あー、さんござ、産業技術が格段に、ある意味進化を遂げたことと同様に、えー、これからの社会必要になってくると、そう思っています。 話者A：ありがとうございます。...	
68	説明のある話題	**直接支払交付金をですね、法制化、コウキュウ＊化という結論** ↓	ということで、我々としては、この、おー、直接支払交付金をですね、法制化、コウキュウ＊化という結論にたどり着いたということになります。 財源については、政調会長から。 話者A：はい。 えっと、かつての...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
66	具体的説明	**農業分野の公約について**	話者A：えっと、ニホンノウギョウ新聞のマツモトと申します。 あの、農業分野の公約についてなんですけれども、えっと、あの、水田活用の直接支払交付金、この法制化を掲げてらっしゃると思うんですが、この、あの、背景というか、狙いについてお考えを伺いたいというのが1点と。 あと、戸別所得補償の復活というのも掲げてらっしゃいますけれども、この、あの、財源をどのぐらいと見てらっしゃって、それをどう賄うか、これに...	
67	具体的説明	**制度の安定性を高めていくということが大事**	えっと、財源のところは、またちょっと政調会長のほうで、あの、答えていただきたいと思いますけれども。 ま、あの、水田活用直接支払交付金はですね、全国の農業者に大きな混乱を与えたと思います。 で、ま、あの、さまざま、ま、米の生産の、ま、調整というかですね、えー、中で、野菜、品目を作ると、おー、いう中で、現場の実態に合わない、いー、ただ、ま、急なですね、方針転換というものが行われてしまうと、計画してい...	
70	説明のある話題	**原子力に依存をする形ではない、え、方策** ↓	で、あの、例えば、あ、ウクライナ、あ、侵略が起きた初期の頃にですね、バイデン大統領が、ま、日本側にも要請をして、備蓄を一部放出をすると、いうこともありました。 まあああの、今、あの、石油の、おー、化石燃...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
69	具体的説明	**リアリズムは、その辺が足りないんじゃないかと、私には見える**	あの、えーとこの、生活安全保障というスローガン、その分配政策のとこは、よく分かるんですけれど、ま、国民の目線で言いますと、やはり最も関心のあるのは、やっぱり食料とエネルギー。 え、これがやはり値段が上がって、え、日本は買い負けるというか、そういう心配があると思うんですが、この問題について、え、どこまで、あの、リッケンさんが考えてるかというのが、私は、この標語に魂が入ってるかどうかだと思うんですが。...	
73	説明のある話題	**未来世代の立場から検証して、そして、提言** ↓	未来世代法ですが、ヨーロッパ諸国に、例があるとお聞きしていまして、今回、環境調査会で、この考えがまとまったものを受け、公約に明記しております。 中身としては、たとえば、ウェルズ＊で、将来世代委員会とい...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
71	具体的説明	**環境エネルギーのところに書かれている、未来世代法の制定**	えと、この中でちょっと目を引いたものに関して、あの、詳しくお伺いできればと思いました。 ひとつは、え、環境エネルギーのところに書かれている、未来世代法の制定というものです。 えと、1行、あの、ご説明ありますけれども、できればもう少し、あの、具体像が分かるようにお話いただければと思います。 え、それから、え。...	

74	説明のある話題	**財政の健全化に向けては、非常に、重要な一歩** ↓	それから、国の財政に関しても、たとえば、毎年のように、政府が、中期の財政見通しとか、税収見通し発表してますが、鉛筆なめているんじゃないかという、疑いを持つことは、多々あると思うんですね。 で、そういう...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
72	具体的説明	**もう少し、詳しい情報が知りたいので、ええ、ぜひ**	話者A：＊ジュウバンノ＊、政治、行政改革のページ、18ページですが、ええ、こちらで、独立財政機関の創設とあります。 と、こちらも、ええ、中長期的な観点から、財政を調査、評価するためということで、ええ、こちらの、財政機関の名前まで、決めてあるということなんですけれども、まあ、こちらについても、あの、もう少し、詳しい情報が知りたいので、ええ、ぜひ、お願いいたします。 話者A：はい、詳しい情報、政調会...	

76	説明のある話題	**多様な、ああ、視点からの議論の行うこと** ↓	話者A：はい、あの、私もですね、あの、この、被選挙権年齢は、引き下げというのはですね、非常に意味があると思っています。 それは、あの、議会というのは、ああ、タセダイ＊、そして、さまざまな背景を持った方...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
75	具体的説明	**被選挙権の引き下げについて、書かれています**	話者A：アリガトウ＊。 話者A：テレビトウキョウ＊、シノハラ＊と申します。 あの、セイジギョウザイセイカイカク＊のところが、被選挙権の引き下げについて、書かれています。 あの、この、被選挙年齢をですね、18歳に引き下げることによって、この、政治や民主主義にですね、どのような変化が起こると、期待する、ヨ＊、と考えられてますでしょうか？ またですね、引き下げをする場合に、この、参議院と都道府県知事...	
77	具体的説明	**参議院に求められる、シュウギン＊や、一般議会と、違う観点**	あの、参議院と都道府県知事について、ええ、現行と同じく、5歳引き上げているというところはですね、まあ、トウナイ＊で、まあ、さまざま、たとえば、参議院に求められる、シュウギン＊や、一般議会と、違う観点ですとか、あるいは、都道府県知事に、求められるものがあるという、主張も。...	

84	説明のある話題	**10時にネット投票法案を提出いたしました** ↓	またあの、昨日は、えー、正社員を増やした場合の社会保険料助成法案、えー、そして、えー、ね、本日はですね、10時にネット投票法案を提出いたしました。 ま、立憲民主党、もうこの政策提案型というのは、ま、こ...	←この話題へのニーズ・根拠を引き出すか、仮説提示してみましょう
79	具体的説明	**まだ価格転嫁がしにくい国と言われている事も影響**	岸田総理は、あのヨーロッパに比べれば、日本のちん、あの、日本の物価高がまだ低いというような言い方してますが、これはそもそも我が国、まだ価格転嫁がしにくい国と言われている事も影響しているわけで。 え、さも政府の対策が効いたかのように言うのは、これは大きな間違いであるという事だと思います。...	
80	具体的説明	**党首討論、え、これをやはり行うべきだという事を主張**	え、そしてですね、え、この参議院の集中審議で、え、今後の国会の動きになってくわけですが、まあ我々からはですね、主に1つはいわゆる党首討論、え、これをやはり行うべきだという事を主張して、え、おります。 ええ、先日の岸田総理との予算委員会のやり取りを見ても、やはり議論不足というかですね、総理の考えをもっと正さなければいけない、そう思っておりますので、党首討論を求めていく、え、これが1つと。 参議院の決...	
81	具体的説明	**今国会中に結論を得る**	またあの旧文通費、調査研究広報滞在費については、今11時から行われている協議がありますけれども、まあ国会会期ももう迫ってきて、え、おります。 あの今日結論が出るものではないと思うんですが、まあ10回目ですかね、という事ですので、え、今国会中に、今国会中に結論を得ると、自民党国対委員長もこの使途公開や国庫返納について、え、述べてきておりますので、そこはしっかり守っていただく必要があると思っております...	
82	具体的説明	**リーダーシップを担ってきたという事もふまえて、え、我々、立憲民主党も協力**	またあの6月19日に令和臨調が、ああ、発足大会を開くと、私もそこに参加をいたします。 え、これまでもあの、元号毎にというかですね、臨調が様々日本の政治改革、社会構造改革に力を入れ、え、またそのリーダーシップを担ってきたという事もふまえて、え、我々、立憲民主党も協力をしていきたいと思っています。...	

83	具体的説明	**ホソダ議長の発言についてですけども、議運で説明を求めています**	またあのホソダ議長の発言についてですけども、議運で説明を求めています。 まあ10増10減の話、まあそして最近の様々な報道、週刊誌報道等も含めて、議運での説明を求めていますが、未だ一向に、え、前向きな反応がないという事見まして、え、我が党のですね、ジェンダー本部として、え、各党の議員の方々と議長へ申し入れをするという予定となっております。 まあ議長には、やはり一刻も早く説明をしていただきたいと思って...	
85	説明の少ない話題	**基本的には国対に聞いていただく**	話者A：ご質問のある方は挙手をいただけますか？ ヨミウリサン＊どうぞ。 その次に朝日新聞さんどうぞ。 話者A：読売新聞のキタムラです。 あの、細田議長の件で、あの、一部報道で7日にも不信任決議案を立...	←説明が足りないかもしれません
	説明無し			
93	説明の少ない話題	**野党による、うー、カイセン＊過半数の確保を目指して**	ま、そういう中で、えー、ま、共産党さんとしても、お、共産党としての取組み、えー、をですね、え、発表されたという風に伺っておりますので、ま、我々としてはこの与野党対決、うー、そして立憲民主党自身も、え、...	←説明が足りないかもしれません
	説明無し			
95	説明の少ない話題	**優先度の高いところから、え、整えていく**	話者A：あの、国と政府はですね、弾薬の、ま、あの、確保というところで備蓄についても予算が足りないと主張していますが、その点についてはどうお考えでしょうか？ 話者A：私もかつてですね、ま、そのイージス...	←説明が足りないかもしれません
	説明無し			

プレゼン全体を振り返ろう

【CHECK6】プレゼン全体の流れ・説明内容

話された順に話題のトピックが表示されています。
・話順は、各CHECKで表現されている数値です。
・トピックサマリーは、実際に話された内容のうち　重要と思われる用語です。
・チェックポイントでは一般的なプレゼンと乖離の大きい箇所にアラートが出ています。

「一般的な人が聞こえた」レベルに文字起こしされていますので、雑音の多い環境や、はっきりとした発音でない場合は＊＊＊で示されています。その場合でもこのAI分析は、固有名詞ではなく内容の構成を分析しているため、分析結果に大きな影響はありません。

話順	トピックサマリー	実際に話された内容	分類タイプ	チェックポイント
1	**すいません、こちらもいいですか？**	【自分】じゃ、政調会長。 【自分】＊。 【自分】＊。 【自分】どうぞどうぞ。 【自分】＊。 【自分】コエモット＊。 【自分】ソウデスカ＊、じゃ、いいですか、広げていいですか？ 代表＊ますか？ まず。 【自分】ハイ＊。 【自分】アソビ＊。 【自分】うん、はい。 【自分】すいません、こちらもお願いします。 【自分】はい。 【自分】アリガトウゴザイマス＊。 【自分】はい。 【自分】すいません、もう1度こっちのほうもお願いできますか？ 【自分】はい。 【自分】ありがとうございます。 【自分】オーケーですか？ 【自分】すいません、最後にこちら＊ください。 【自分】はい。 【自分】はい、ありがとうございます。 【自分】すいません、こちらもいいですか？ スイマセン＊。ありがとうございます。	挨拶などその他の話題	
2	**公約にこう、手を掲げてもらう**	【自分】はい、今日はあの、公約にこう、手を掲げてもらうこと＊。 【自分】こっち？ こっち？ 【自分】あ、こっち側、はい。 【自分】右、右側、はい。 【自分】あ、すいません。 【自分】はい。 【自分】はい、あの、手を、手が見えるような形で、上に乗せてもらって、はい。 【自分】＊＊＊。 【自分】ありがとうございます。 【自分】＊、こちらもお願いします。 【自分】ヨロシイ＊ですか？ 【自分】はい。 【自分】＊よろしいですか？ 【自分】＊。 【自分】はい、はい。 【自分】はい、すいません、ありがとうございます。 【自分】はい。 【自分】よろしいですか、はい。	挨拶などその他の話題	

3	**立憲民主党、え、この夏2022参議院選挙の公約、え、発表**	それでは、参議院選挙公約について発表を行います。 まず、イズミ代表からご説明致します。 【自分】はい。 え、おはようございます。 え、皆様のお手元に、公約集配らせていただきました。 立憲民主党、え、この夏2022参議院選挙の公約、え、発表させていただきます。 ま、改めてですが、生活安全保障、え、既に重点3本柱ということで。 え、物価高と戦う、そして教育の無償化、着実な安全保障。 え、既に発表しているところでありますが、え、今回はそれを含めた、え、トータルの公約集ということになります。 あの、基本的な構造として、え、このじゅう、最重点の3本柱、最重要な3本柱とですね。 そして、え、その他の政策ということで、え、重点政策10項目。 そして、この中には、後ろのページのほうに、インデックスというかですね、え、主な政策項目というものも載せさせていただいております。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
4	**政策集の中に書かれているものがある**	そして更に、ま、あの、冊子化すると膨大なページ量、100ページを超えるものになる、いわゆる政策集というものがあります。 え、これを含めて網羅的に、我々として、この政策ということになります。 え、ですから、この中に書かれていないものでも、その政策集の中に書かれているものがあるということを、ま、ご理解をいただきたいと。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
5	**254も、項目に、ええ絞り込み**	【自分】＊全てをサシカ＊することはできませんので、我々としては、まあああの、おお全国民からですね、ええセイチョウ＊で政策公募を行なって、1300件ですか、約1300件の、おお公募が、ああ、をいただきました。 ええこれも大変、尊い、いい貴重なことでありますし、ええそして、ええこれまでの政策項目、多分、1000項目近くぐらいになると思うんですが、ああ、その中から、ええこうして、冊子の中にはですね、ええ、200うう、50項目ほど、ええ正式には、254だったかな、254項目、ええ、掲載をさせていただいて、ええおります。 254も、項目に、ええ絞り込みをさせていただきました。	[6]「30年間の衰退と、格差拡大を、おお変えたい」についての具体的説明		
6	**30年間の衰退と、格差拡大を、おお変えたい**	で、あの、この中でですね、ええ政調会長からも、昨日も少し、あの事前に説明はさせていただいてますが、3ページ目ですね、ええ、前文というか、我々としてのリード文、載せています。 で、やはりこの中で、ええ、30年間のこの、我が国のまあ、衰退、そして格差拡大、こういった問題意識を、おお強く持って、まあそれを打破すると、この30年間の衰退と、格差拡大を、おお変えたい、改革したいというのが、我々の生活安全保障であります。	[3]「立憲民主党、え、この夏2022参議院選挙の公約、え、発表」についての具体的説明		
7	**生活目線に立つ、で、これが、ああ非常に重要**	生活目線に立つ、ええ生活者の目線に立つ、生活目線に立つ、で、これが、ああ非常に重要だと思っておりまして、ええ安全保障というのは、この文章にも書かれてる通り、国家の平和から、経済、暮らし、雇用、教育、食糧、エネルギー、デジタル、社会保障、全てに関わる、うう概念であると、だからこそ、こういったものを、生活の、目線から、ええもう一度見つめ直す、再構築をしていくと、いうことであります。 ええ、このおお、数日間の間に、まあ予算委員会で、ええ、キシダ総理と、議論も行いましたが、やはりその時も、経済においても、おお国家目線でのみ見るのか、生活目線で見るのかでも、対策は随分変わってくると、いうことは、お示しをしてきたと思います。	[8]「具体的なメニューを盛り込むことによって、これこそ生活目線である」についての具体的説明		
8	**具体的なメニューを盛り込むことによって、これこそ生活目線である**	そして、ええ、ただ単に、いい教育についてもですね、ええ、国家目線で、子供、子育て費用の倍増と言ってるだけでは、実は何も具体的に変わっていない、我々が言うように、教育の無償化の中に、具体的なメニューを盛り込むことによって、これこそ生活目線であると思っています。 我々こうして教育の無償化という言葉を、おお、児童手当の高校までの延長、1万5000円の引き上げですとか、給食費の無償化とか、ええ、大学授業料の無償化という風に、具体的に、いい、明記をしていくことでですね、生活目線というのが、よりクリアになってくると思います。 また、ああ、こうした教育の無償化を進めることによって、改めてですが、ええこの衰退してきた我が国の、おお国際競争力、うう、成長の力、ええ産業競争力、こういったものも、おお回復をさせていきたい、ええそんな思いも持っております。	[6]「30年間の衰退と、格差拡大を、おお変えたい」についての具体的説明		

9	**着実な、あくまで真に必要な防衛力**	ええそして、安全保障についても、やはり同様だと思います。 国家目線で、ええただ、ああ、軍備を増強するという考え方ではなくて、まさに国民の命、平和を守るという観点から、ええこれも予算委員会で質疑もさせていただきましたが、例えば、国民保護、ええこういった点については、ああ政府は全く無策であると、いうことが明らかになりました。 改めて国民の命を守るために、ええ限られた国家予算の中で、ええどのように、防衛費を、おお考えていくのかと、いうことを、おお表現をすれば、当然着実な安全保障、中身のない、数字ありきの、おお、防衛費ではダメだということを、改めて、まあこれは与党側からも声が上がっておりますが、我々として着実な、あくまで真に必要な防衛力を。【自分】ヲ＊、整備すると。 こういう考え方で、ええ、表現をさせて、え、いただいております。	[3]「立憲民主党、え、この夏2022参議院選挙の公約、え、発表」についての具体的説明
10	**まったく国民にとって実益のないもの**	また、あの、核共有などについてもですね、ま、当然のことですが、まあ、あの、自民党内でも議論がなされて、ええ、まったく国民にとって実益のないものだということは、自民党の調査会でも明確になりました。 ま、その核共有の今の議論をですね、今から進めるという政党は、ま、本当にとんちんかんと、おお、いうふうに思います。 こういうことがあってはならないと思います。	[9]「着実な、あくまで真に必要な防衛力」についての具体的説明
11	**経済、そして産業、安全保障、これは真っ正面から**	ええ、さてですね、この3項目を中心に、ええ、4から10ですね。 医療、健康、コロナ対策、そして雇用、年金、ベーシックサービス、え、経済、産業、イノベーション、環境エネルギー、地域農林水産、災害対策、人権、女性、障害、多様性、政治、行財政改革ということを、おお、書かせていただきました。 どれも重要な項目であり、我が党は、あ、調査会を設置をして、え、その中で集中的に、え、また、民間有識者も交えながら、あ、議論を重ねて、え、きたものを、ええ、この、おお、公約の中に盛り込ませて、ええ、いただいて、ええ、おります。 ま、特にですね、あの、我が党として、先ほど、産業競争力の話もしましたが、経済、そして産業、安全保障、これは真っ正面から立憲民主党を語っていくし、そして国民の皆さまに安心していただける、信頼していただける、う、政党で、え、ありたいと思っております。	[4]「政策集の中に書かれているものがある」についての具体的説明
12	**2030年までに省エネ、再エネ投資、これを200兆円規模**	まあ、あの、環境政策なんかでいえばですね、ええ、2030年までに省エネ、再エネ投資、これを200兆円規模、ま、民間投資も含めてでありますが、ええ、これをぜひ、実施をしていきたいと、大きな市場を作っていきたいと考えております。 ま、それによって250万人の雇用が生まれるということも含めてですね、ええ、こういった市場の、おお、形成と、お、いうことにも取り組んで参りたいと思います。	[11]「経済、そして産業、安全保障、これは真っ正面から」についての具体的説明
13	**一律1万5千円というかたちにさせていただき、また所得制限も、おお、なくす**	また、あの、私個人としてですね、特に、あの、基本的には政調による政策の積み上げに、え、委ねておりますので、え、私から、ああ、個別にですね、一つ一つすべて表現をああしろ、こうしろということはしておりませんが。 あ、一方で、え、私が特に、ま、こだわらせていただいたのは児童手当のところについては、ええ、関係部門とですね、よく意見交換をさせていただいて、え、最終的に、ええ、最初の、まあ、党の、おお、部会というかですね、え、ワーキングチームでしたかね。 え、その中の議論では、ええ、いわゆる、ま、1万円の、お、給付からですね、すべてを1万5千円にするということではなかったわけですが、え、個一律1万5千円というかたちにさせていただき、また所得制限も、おお、なくすということを明確にさせていただきました。	[11]「経済、そして産業、安全保障、これは真っ正面から」についての具体的説明
14	**コロナかかりつけ医は、ぜひ、実現をしていきたい**	え、そして、我が党の、あの、まあ、売りというかですね、あの、ある意味、主要な政策、この4から10の中でいえば、まあ、コロナのかかりつけ医ですね、これは今、感染者が少し落ち着きつつあるとはいえ、やはりこう、医療へのアクセス権が、ああ、軽視をされているというような由々しきことだと思っていますので。 このコロナかかりつけ医は、ぜひ、実現をしていきたいというふうに思っています。	[11]「経済、そして産業、安全保障、これは真っ正面から」についての具体的説明
15	**消費税の5パーセントへの、おお、時限的引き下げ**	また、あの、消費税の5パーセントへの、おお、時限的引き下げですね。 これも予算委員会で触れてきましたけども、おお、やはりとても重要な、ああ、政策であると思って、ええ、おります。 ま、そういったことを中心に、ええ、われわれこの文書を作らせていただきました。	[11]「経済、そして産業、安全保障、これは真っ正面から」についての具体的説明

16	**分配による次の成長をまさに、えー、進めていく**	ええ、加えて言えば、まあ、あの、自民党はキシダ政権、新しい資本主義といいながら、やはりアベノミクスの継続、堅持ということがもう明らかになりましたので、ここはわれわれと大きく違う、まあ、結局のところ分配なくして次の政調なしと言っていたキシダ政権は。 【自分】まったく分配策を示すことができていないという状況の中で、我々は分配による次の成長をまさに、えー、進めていくという政策を並べさせていただいて、えー、おります。	[17]「5兆6兆というものを優先順位でいえば、やはり教育」についての具体的説明		
17	**5兆6兆というものを優先順位でいえば、やはり教育**	またあの、先ほども少し触れましたが、国家予算が当たり前ですが限られている中で、ま、防衛費2パーセントというのは、それだけで5兆6兆、そして消費税の2パーセント分にあたるというものであって、これを年間1兆円ペースで増やしていくという自民党に対してですね、我々は繰り返しになりますが、真に必要な防衛力は整備する着実な安全保障＊いうことでありますし、それよりもその5兆6兆というものを優先順位でいえば、やはり教育、こういったところに回していく必要が優先度が高いと、ま、このように考えているところであります。 えー、はい、まず私からの説明は以上とさせていただいて、えー、その他もし皆さまからのご質問等々があれば、ああ、私そして政調会長のほうでお答えをさせていただきたいと思います、よろしくお願いします。	[11]「経済、そして産業、安全保障、これは真っ正面から」についての具体的説明		
18	**公約の関係のご質問からお受け**	【自分】それでは質疑応答＊＊＊。 まず、あの、ゼンタク＊を説明したように、公約の関係のご質問からお受けをしまして、その他の一般的なご質問については、えー、後半でお受けをしたいと思いますので、ご協力をお願いしたいと思います。	[19]「どういったところが、より、あの、顕著に対立軸になっていく」についての具体的説明		
19	**どういったところが、より、あの、顕著に対立軸になっていく**	えー、質問挙手いただいて指定された方、後ろのスタンドマイクでご質問ください。 ではマイニチ新聞さんからどうぞ。 【自分】えー、マイニチ新聞のミヤハラです。 えっと、先ほど冒頭発言のほうでも、あの、公約についてですね、あの、生活目線であると、で、あの、国家目線とは違うっていうところを、えー、あげてらっしゃいますけれども、ま、今回の参院選でのですね、あの、対立軸ですね与党との、ま、あの、そういったことになってくると思うんですが、えー、特にあの、政策に落とし込んだときに、その、ま、生活目線、国家目線っていう、えー、ま、具体的にどういったところが、より、あの、顕著に対立軸になっていくと考えているかっていうところが一つ。	[22]「可処分所得の観点から、購買力の観点から経済を見る」についての具体的説明		
20	**どういった、あの、意識とかがあったか**	で、あともう一点がですね、あの、代表は代表戦の時から、えー、ま、支持層を広げる、ウィング広げるっていうことを、あの、おっしゃってきたと思うんですけれども、ま、今回の、あの、生活安全保障っていう言葉も含め、ま、安全保障けっこう前面に出すことで、保守層の取り込みっていうのも、ま、はかったのかなと思いますが、ま、そういったところデノ＊、えー、どういった、あの、意識とかがあったかっていうところをお願いします。 【自分】はい、ありがとうございます。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
21	**経済においてより顕著に、えー、今見られている**	えー、まず、ま、この生活目線と国家目線、ま、先ほども少しお話をしましたけども、経済においてより顕著に、えー、今見られていると思います。 あの、帝国データバンクの調査で、ま、最初は3千品目と言われていた物価高が、今1万品目に達しようとしていると今日発表もあったと思います。 ま、それぐらいに物価が上がっているにも関わらず、今の、ま、金利ですとか、また円安の状況について無為無策なのが岸田政権であります。	[22]「可処分所得の観点から、購買力の観点から経済を見る」についての具体的説明		
22	**可処分所得の観点から、購買力の観点から経済を見る**	えー、現にこれを年換算すれば国民生活の負担は間違いなく数万円単位で高まっていくと、生活が圧迫をされる、消費が圧迫をされる、いうことに対して、我々立憲民主党は、えー、年金について、えー、支援給付金、これを上乗せをするということも書かせていただきましたし、最低賃金の引き上げ、これは昨日、あの、中小企業の正社員を増やした場合の中小企業への社会保険料の助成をするということも含めてですね、えー、賃上げがより実施されやすい環境づくりというものを、えー、これも訴えてまいりました。 そして消費を落とさないための消費税の引き下げというかたちで、この減税給付、そういったさまざまな施策を通じてですね、生活目線で可処分所得の観点から、購買力の観点から経済を見ると。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。

23	**対話外交ということがまず大前提**	【自分】ま、大きく、あの、そこが目線が違う部分だと思います。 ま、そして、ええ、この安全保障政策においてもですね、ええ、これも先ほどの話にあったように、あの、ただ単に＊あの、いわゆる防衛力を、防衛費を高めていけば、国民がただ安全になるというほど、え、この世界は簡単ではない、ということをもっともっと我々訴えていきたい。 ですから、真に国民を守るというのは、どういうの、どのようなことなのか、これは対話外交ということがまず大前提にある。 だからこそ、これも予算委員会でも繰り返し訴えて参りました。	[24]「国民目線、生活者目線だからこそ出てくる発想」についての具体的説明		
24	**国民目線、生活者目線だからこそ出てくる発想**	え、周辺環境の、ま、緊張緩和させる取り組み、これは対話外交で行なっていくべきことでありますし、ま、それに加えて、ええ、我が国が防衛力を増強するということは、当然周辺国もそれ以上に防衛力を増強する可能性がある。 いわゆる軍拡競争をただ惹起する、招くという立場に立つのではなくて、真に必要な防衛力を整備をするということとともに、この緊張緩和にあたっていく。 ま、こういうところは全て、我々、国民目線、生活者目線だからこそ出てくる発想だと思うんですね。 ま、そういうことをヨウ＊、対比をさせて訴えていきたいなと思っています。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
25	**安全保障においても、そして産業や経済政策においても、我々が真正面から語って**	【自分】支持層の拡大の部分について＊。 【自分】あ、すいません、はい。 支持層の拡大、あの、これはまあ、政党であれば、支持層の拡大は当然のことですので、あらゆる努力をしてですね、拡大をしていく。 で、そういう時に、私は立憲民主党のまず立憲主義、そして、ええ、真っ当な政治、まあ、あるいは、ま、ボトムアップとかですね、支え合いとか、こういうものはこれからも堅持をしながら、堅持をしながら、そして当然政権を担う政党に、を目指してるわけですから、安全保障においても、そして産業や経済政策においても、我々が真正面から語っていくと、その意思を示すということで安全保障という言葉を、まあ、載せさせて頂いたということですね。 【自分】え、すいません。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
26	**アベノミクスを脱却をする、見直しをする**	政策についてもう一点なんですけれども。 あの、異次元の金融緩和の見直し、ええ、市場との対話を通じながら見直しを進めますっていうことを、ええ、おっしゃってますけれども、え、こちら、具体的にどのように見直していくかっていうところをお願いします。 【自分】はい、ありがとうございます。 あの、ま、アメリカ、ヨーロッパが次々と金利、ま、利上げですね、に動く中で、この金利差もまた円安の一つの要因だと言われている。 そして、それによって物価高がこれだけ広範に広がっているという中でですね、我が国が、ま、金利の政策についてどのようなスタンスを示すのかということで言えば、私たちはアベノミクスを脱却をする、見直しをするという、ま、意思をどのように示すかということが今問われてると思います。	[27]「予算委員会でも述べたアコードの見直し」についての具体的説明		
27	**予算委員会でも述べたアコードの見直し**	ま、ですので、手法ってのは様々あって、それは我々が予算委員会でも述べたアコードの見直し、ええ、共同声明の見直しですね、あるいは見直しを検討するということ、そのもののメッセージも、また、ええ、何かしら市場に対してのメッセージになるかもしれない。 このメッセージの度合いというのは様々あると思いますが、一つはこのアコードについて言及をしていく、考え方を示していくということ、あるいは、まあ、我が国、ま、日銀がですね、え、大量に保有し続けてきた、ええ、ETFですとか、株というものについて、今後どのような考え方を示していくのかは、そういった選択肢があると思います。 こういった選択肢を、市場との対話を、ま、横目で見ながらですね、どのように展開していくのかってことが今政府に求められている。 何もしないわけにはいかないと思います。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。

28	**ウクライナ情勢によってですね、国家安全保障という事は大きく注目**	【自分】東京新聞さん、どうぞ。 そのあと朝日新聞さん、ドウゾ＊。 【自分】＊のイノウエです。 あの、今回の公約の＊なんですけれども、あの、昨年の衆議院選の後から今まで、これ、あの、代表、＊代表になってから＊重なりますが、大きな変化として、やはりロシアによるウクライナの＊があるとオモイ＊ます。 あの、そのウクライナの問題というのが、今回の公約を作るにあたって、どのような影響を与えたのか、また、あの、具体的にそれを受けて、あの、変えたり、新たに加えたような政策があれば、教えてクダサイ＊。 【自分】はい、ありがとうございます。 まあ、やはり、あの、ウクライナ情勢によってですね、国家安全保障という事は大きく注目をされたと思います。 ただあの、安全保障そのものは、経済安全保障、エネルギー安全保障、食料安全保障は、既にウクライナ情勢が起きる前から、あ、言葉としても注目を持たれていたものでありますので。 まあ、この、これまでの流れに加えて、このウクライナ情勢の激変というものは、あ、我々がこの政策を作る上でも重視を致しました。 で、その意味で当然ながら、あの、＊、立憲民主党は、ま、党の綱領でもですね、え、自衛隊そして日米安全保障条約を軸にして、え、我が国を防衛していくという政党でありますので、まあ、こういったものを改めて全国民の皆様に、え、基本的な姿勢を明らかにすること。 そして基本的な視線の中で、え、今我が国に求めている、求められているだろう防衛政策を我々として、＊をさせていただいた。	[29]「オリジナルの防衛政策というものを構築していく」についての具体的説明		
29	**オリジナルの防衛政策というものを構築していく**	しかし日本とウクライナは決して同じ環境ではない、それは両国ともロシアの隣国ではあるけれども、え、ウクライナはアメリカとの安全保障条約やNATOとの安全保障条約を有していたわけではない国でありますし。 ウクライナはロシアと既に紛争を、直接的な紛争を抱えていた国であるなど、諸条件に違いはありますので、え、NATOにならってとか、ウクライナにならってということではなく、まさに我が国に応じた、我が国のオリジナルの防衛政策というものを構築していく必要があると。 まあ、そういう考え方で記載をさせていただきました。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
30	**抽象論のままでは、予算を付けることはできない**	【自分】＊、安全保障のところなんですけれども、あの、日米の役割分担を前提と専守防衛で＊＊＊ありますが、あの、今までも何度か質問でているかと思いますけども、いわゆる敵基地攻撃能力についての考え方という＊考え方について改めて。 【自分】はい、ありがとうございます。 まあ、その、今いわゆる敵基地攻撃能力と言った、言われた言葉を自民党は反撃能力と言って、そしてそれは具体的に何かと聞いたら、あ、防衛政策のことなので、個別具体にはお答えしかねるということで、結局実態がわからないわけですよね。 実態がわからない中で、どのように、どんな防衛装備品を確保するのかということまで、わからなくなってしまっては、そこにただ闇雲に予算をつけるということは難しくなってくると思います。 そして、どういった敵の拠点なりを攻撃をする意図を持つのか、ということについてもですね、やはりこれはもう自民党が明確にせねばならない、何を考えているのかを明らかにせねば、抽象論のままになるし、抽象論のままでは、予算を付けることはできないということになるんだと思います。	[31]「サイバー、宇宙、電磁波というものを活用して、何ができるのか」についての具体的説明		
31	**サイバー、宇宙、電磁波というものを活用して、何ができるのか**	まあ、改めてですが、あの、敵の攻撃を防ぐ手段、で、これは様々あってですね、え、立憲民主党として言えば、まあ、従来のミサイル防衛ということは当然、え、能力の変化に対応して、え、改善をしていかなければいけないというところがありますし。 またサイバー、宇宙、電磁波というものを活用して、何ができるのかというケントウ＊はですね。 【自分】やはり、しなければいけないと思っています。	[33]「緻密な議論を重ねて、え、何が出来て何が出来ないのか」についての具体的説明		

32	**新しい技術の何が、どのような解釈になるのか**	【自分】＊としては、その、相手領域内への攻撃、いわゆる矛と盾、矛の能力を持つことについて、＊？ 【自分】安定領域？ 【自分】あ、相手領域。 【自分】相手領域？ 【自分】＊、はい。 【自分】もう1回、お願いします。 相手領域？ 【自分】相手領域への攻撃の能力を持つこと、ま、いわゆる矛の能力を持つことに＊、ドノヨウニ＊お考えなのか。 【自分】あの、今ほど、お話をしましたように、実は、その、サイバーというのも、えー、防衛省に、先日、聞きましたら、武力行使には当たる、しかし海外派兵には当たらないとかですね、あの、新しい技術の何が、どのような解釈になるのかということを、1つ1つ丁寧に確定させていくこと、これが、やっぱり極めて重要だと思うんですね。	[31]「サイバー、宇宙、電磁波というものを活用して、何ができるのか」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
33	**緻密な議論を重ねて、え、何が出来て何が出来ないのか**	あの、決して、えー、何か、こう、やったらやり返すとかですね、あの、概念的な話だけでは済まない、法律的に、また、憲法、ま、これ、あの、岸田総理も、あの、国会答弁で述べてますが、えー、当然ながら憲法ですとか、日米安全保障条約ですとか、まあ、そういったものの枠の中でという話でありますので、我々も、そういった緻密な議論を重ねて、え、何が出来て何が出来ないのかということを、より詰めていきたいと思います。 【自分】アサヒ新聞サン＊。 【自分】アサヒ新聞のフジサキです。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
34	**基本的には、えー、党の中にですね、えー、各調査会を設置**	あの、大きく2点、公約について＊させて下さい。 ＊今の安全保障に関わる部分なんですけれども、すみません、安全保障に関わる部分なんですけれども、あの、今回ですね、まあ、あの、ウクライナ情勢とか、あの、サイバー攻撃とか、新しい文脈とともに、まあ、政権を担っていくっていうところでの、ま、責任感、責任から、あの、打ち出されたということだったんですが、あの、ま、党内でも色んなお考えがある中でですね、今回の公約にイタ＊、あの、打ち出される、至るまでの経緯、ま、あの、党内での議論っていうの、どうご覧になったのか、ここで、また立憲としての、立憲ならではの安保っていうのは、どういうふうに打ち出されるお考えだったのか、あの、そこらへんの、あの、お考えをお聞かせいただけますでしょうか？ 【自分】はい、ありがとうございます。 あの、基本的には、えー、党の中にですね、えー、各調査会を設置して、えー、そして部会もありますけども、部会や調査会の中で議論を積み上げていただいて、そこは、あの、何か、私が、あの、その時点で、えー、口を挟むというものではなくて、え、まさに党内の中で議論をしていただいて、そして、えー、最終的には、この全体の取りまとめをしていく中で、えー、政調会長の元でですね、2度の全議員政策懇談会を開いて、そこでもご意見をいただいて、えー、決まってきたということで、まあ、あの、当然、様々な政策において、えー、様々な立場からの意見が出る、これは民主的な政党として、私は、まあ、普通の姿だと思ってますので、まあ、その上で、こういう表現にまとまってきたというふうに理解をしています、はい。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。

35	**公募というのも1つの意見を聞く手段**	【自分】もう1つがですね、あの、今回、公募の、あの、公約の中で公募の、あの、形式を取られたと思います。 あの、＊民主系でいうと、あの、これ10何年ぶりのコト＊なのかなっていうふうに理解しているんですけれども、あの、その中で市民参加の行政改革っていうのを入れられたりとかですね、選ばれた政策、あの、この、どうしてここを選ばれたのかとかですね、また、あの、一連の流れは青空集会などでですね、皆さんが、まあ、声を聞くっていう形を、この半年、取られてきたと思うんですけども、そういったところッテイウノ＊、連関ていうところが、もしあるようであれば、お聞かせいただけますでしょうか？ 【自分】はい、ありがとうございます。 あの、まあ、実は、その、公募というのも1つの意見を聞く手段であって、それ以外にも、立憲ボイスというものがあったり、あるいは今、言っていただいたように、青空対話集会の中で教えていただいた政策っていうのもあったりするんですね。 あの、例えば、動物愛護のご意見をいただいて、それは、ここに載っていなくても、政策集の中に入ってるとかですね、そういうものもあります。 【自分】えー、そういった意味では、本当に、あの、多くの国民の皆様の意見の、おー、集約によって、この全体ができているっていうのがまず1つですね。 で、特に、あの、私は1300件、あの、オガ政調会長の元に集められたという中ででですね、あの、今回、その中から、あー、今後もまずは検討が続くものもあれば、この現時点で答えを、おー、出せていくものがあるという中で、18ページですね、18ページの、その、市民参加の行政改革の国民発案件、イニシアティブ制度ですね、これは非常に、あの、面白いなと思いましたし、あの、有効に機能させることによってですね、えー、新たな民主主義、市民参加になると思います。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
36	**デジタル時代に合わせた、あの、合致した取り組み**	先日も、あの、私は台湾のオードリータン大臣とオンラインで対談をさせていただいて、えー、その中でも、オードリー大臣が言ってたんですね、台湾にもこのような国民発案件があって、えー、5000人の署名を集めて、ネット上で、えー、署名を集めてですね、そして、えー、政府に出すことによって、それについて政府が回答をするという取り組みが進んでいるということでありまして。 あの、4年に1度の選択とか、その、議員立法委員選挙や、相応選挙の時だけではなく、政策を選択することができるという風に仰ってましたね。 これは非常に、あの、いい取り組みですし、このデジタル時代に合わせた、あの、合致した取り組みだと思います。 こういう取り組みが、えー、まさに公募の中から出てきたっていうのは、私は今回新しいというかですね、取り組みになったんではないかなと思います。	[35]「公募というのも1つの意見を聞く手段」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
37	**爆買い、これはやっぱり改めるべき**	【自分】他にいかがでしょうか？ ニッケイ新聞さんどうぞ。 【自分】ニッケイ新聞のオオサワと申します。 安全保障についてお伺いします。 えっと、防衛費のところのですね、メリハリのある防衛予算で、防衛力の質的向上という文言をとられていると思うんですけれども。 で、あの、今整備が必要なところで言うと、サイバー、新領域や、ま、ミサイル防衛の迎撃能力の向上などですね、ジミン党の提案してるものと見ても、ま、遜色ない、ま、網羅的に盛り込まれていると思います。 この中で、どのようにメリハリを効かせるのか、優先順位を付けていくのか、あの、選挙でどう説明＊＊＊？ 【自分】まず、あの、これまでジミン党政権、特にアベ政権のもとで、えー、行われてしまったですね、いわゆる爆買い、これはやっぱり改めるべきだと思いますね。 あるいは、突然買いというかですね、衝動買い、爆買い、その、中規模ですとか、防衛大綱にもあるかないか分からないようなものをですね、急遽導入するだとか、こういうことで防衛政策全体が歪められる、混乱するということもこれまでありました。 イージスアショアがいい例だと思います。	[38]「自衛隊員の待遇、処遇の問題についても、もっと予算をかけるべき」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。

38	**自衛隊員の待遇、処遇の問題についても、もっと予算をかけるべき**	で、また、それによってですね、えー、それこそ、先日ジミン党のオノデラ議員が予算委員会で質問していましたが、我々も本来整備ですとか、自衛隊の隊舎ですとか、こういった自衛隊員の待遇、処遇の問題についても、もっと予算をかけるべきだと思うんですね。 私、ある防衛産業の、ま、町工場というか、お話伺ったことありますが、最近そういったところに予算が回ってこないと。 なぜかと言えば、急にジミン党政権が大物買いをしてくるので、予算がそっちに回らないってわけですね。 まさに、その、整備ですとかいうことについて、ちゃんと責任を持って、稼働率を上げるために、いー、いざという時に、いー、運用できるようにですね、えー、整備費など＊、あるいは、隊員の待遇改善、こういうこともやらねばいかないと思います。 あと、あの、加えて言うとですね、あの、NATO各国は。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
39	**海保の、その、体制強化、ここも重視をすべき**	【自分】海上保安庁の予算ですね、で、これも、加えて、え、いわゆる防衛費ということも、算定を行っております。 立憲民主党は、あの、領域警備法、海上保安法、あ、立憲民主党のその、領域警備法海上保安庁強化法、この中では海上保安庁の、え、強化計画、これも策定するべきだといっておりますので、海保の、その、体制強化、ここも重視をすべきだと思いますね。	[40]「増える、増えないというのは、両方ありうる」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
40	**増える、増えないというのは、両方ありうる**	【自分】代表、以前はですね、ま、現在の安全保障環境をみれば、結果的に防衛費というのが増えていく方向にあるという、ご見解を示されていましたが、それについて、まあ、防衛費への考え方、改めて教えてください。 【自分】はい、あの、何度も繰り返し使っている言葉ですが、真に必要な防衛力を整備する、その結果増える、増えないというのは、両方ありうるという話だと思います。 当然増えることもあります、はい。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
41	**人命救助という観点で、注力をしなければいけないエリアというのはある**	【自分】他にいかがでしょうか？ ミヤザキさん、どうぞ。 【自分】え、初めまして、ミヤザキのコユキ＊です。 まず今のあの、話の続きですが、海上保安庁に関してですけれども。 あの、まあ、知床遊覧船の事故がありましたが、あの、海上保安庁は、第1管区の方がですね、あの第3管区海上保安本部なんかに比べると、第1管区だとか、第11管区だとか、あまり、予算や整備が回っていないのではないかという指摘があります。 まあ、あの、今、海上保安庁、NATO各国のように、あの、防衛費の中に入れて体制整備という話がありましたけれども。 改めて、第1管区中心に、知床の件も含めて、え、公約の中にはないかもしれませんけれども、いかがお考えでしょうか？ 【自分】はい、あの、公約でいうとですね、10ページ、11ページのところの、え、これ、ピンク色でいいんですかね？ピンク色、はい、の、あの、黒丸で3つ書かれているところの3つめの丸がですね、領域警備海上保安体制強化法という文章があります。 あの、ここで、我々が、この海保の強化ということを言っているわけですけれども。 今あの、ご指摘があったようにですね、改めて、そのもちろん、あの、いわゆる、シーレーンとかですね、あの、主要港があるかどうかによって、ま、船の往来、まあ、当然、そういった意味での、海上保安庁が海の交通安全やですね、え、人命救助という観点で、注力をしなければいけないエリアというのはあると思う。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
42	**管区ごとのですね、え、穴のない、もれのない体制を作る**	一方で、なんらか船が運行されていて、え、当然ながら、あ、それが事故があればですね、命の危険にさらされる可能性があるということであれば、この日本、海に取り囲まれている我が国において、いかに空白地域を作らないのかということで、え、改めて体制を組み直すと、いうことも必要ですし。 その救助が最低何分で辿り着ける、という体制を構築できるかどうか、これも問われると思います。 特に日本、南北長いわけですから、南の海に転落をすることと、北の冷たい海に転落することでは、まあ、生存もですね、時間も変わってくるということも踏まえて、そういった、管区ごとのですね、え、穴のない、もれのない体制を作る、いうことは大事だと思います。	[41]「人命救助という観点で、注力をしなければいけないエリアというのはある」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。

43	**冷静に検証して、えー、強化をしていく必要がある**	【自分】まだ動いているんで、政治の方からあの、発言はありませんが、第1管区の体制が、まあ、あんまり、第3なんかと比べると、整備が少ないっていったことも、ちょっと知床の件で、今後考えなければいけないとお考えでしょうか？ 【自分】あの、考えなければいけないというのは、あの、そうだと思います。 あの、海上保安庁が、現在の体制の中でまあ、ある意味あの、最善、全力を尽くしてきたということもあるとは思うんですが。 とはいえ、え、体制に不備がなかったかどうかというかですね、装備に不備がなかったか。 【自分】トカ＊、不足がなかったかということは、やはり、あの、リエ＊、冷静に検証して、えー、強化をしていく必要があると思います。	[42]「管区ごとのですね、え、穴のない、もれのない体制を作る」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
44	**賃金スライド、物価スライドすればいいのではないか**	【自分】それから、あの、まあ、参議院から岸田インフレというふうな表現が出て、まあ、公約の中ではあくまでも、えー、一番、物価高と戦うということですけれども。 これ、岸田インフレに関して、あの、岸田賃上げと言いますか、あの、インフレをしてもその後賃上げ、その分のが賃上げがあって、で、まあ、年金が、あ、賃金スライド、物価スライドすればいいのではないかという考え方が、最近主流になっているかと思います。	[45]「いちだんの政策の強化が必要」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
45	**いちだんの政策の強化が必要**	この件に関して、ちょっと賃上げは、あー、もうあまり期待できないという認識のもとなのか、あまりその基本、えー、物価のことだけ考えてるッテ＊形でしょうか、いかがでしょう？ 【自分】あの、賃上げは期待できないとは思わないですね。 あの、そして物価高と戦うというのは、物価高にどう対応するかということを指しているのであって、単に抑えるという考え方ではないっていうことですね。 あの、物価が上がった分、どのように可処分所得を確保するか、これが大事なんだと思います。 で、その意味で、あの、連合も今年は本当に努力をして、まあ、近年の中ではですね2パーセント越えとか、あー、よく言われますけれども、おー、賃上げ努力をしたが、あー、連合の中間まとめの中で物価上昇の方が大きくなって、えー、残念ながら実質賃金がマイナスになる恐れがあるという報告がなされている。 ですから、今の岸田政権が作り上げた賃上げ税制ですとか、やはりこれでは追いつかないと、物価高に追いつかないということで言えば、戦えていないということになりますんで、やはりいちだんの政策の強化が必要だと思います。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
46	**政権交代目指して、まあ、2番、3番といったことが、まあ、入って**	【自分】じゃあ最後ですけども、あの、まあ、政権交代を目指しつつ、目先の参院選で勝たなければいけない。 特に、ま、少なくとも比例で野党第一党にはならなきゃいけないということで、まあ、政策懇談会で若干時間がかかったんじゃないかと思いますけれども。 おそらくその中で目先の参院選ということを考えると、一番物価高ヲ＊戦うと。 それでいて、まあ、代表としては、あー、政権交代目指して、まあ、2番、3番といったことが、まあ、入っているんじゃないかと思うんですけれども、そのへんはいかがでしょうか？ 【自分】あの、生活安全保障なので、あの、一番も、これは、このままいけばもう少し長期に渡って必要かもしれないと思っていますが、まあ、あの、今おっしゃっていただいたような、はい、あの、認識で良いかと思います。 はい。 【自分】ありがとうございました。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
47	**子どもに対する支援はできるかぎり普遍的であるべき**	【自分】他にいかがですか？ アサヒ新聞さんで、次はホッカイドウ新聞さん。 【自分】エット＊、アサヒ新聞のキハラです。 えっと、2番の教育の無償化のところについて伺います。 あの、冒頭、イズミ代表触れられましたけれども、よ、えっと、所得制限の撤廃についてこだわりがあったとおっしゃいました。 えっと、その理由をまず教えてください。 【自分】はい。 あの、これは私が、まあ、あの、2009年の、おー、政権交代の以前から、えー、子ども子育て政策、うー、当時民主党の中で携わってきてですね、あの、当時から、あー、ずっと我々掲げてきたのは、まあ、普遍主義という考え方ですね。 え、どのような環境に生まれた子供であっても、子どもに対する支援はできるかぎり普遍的であるべきであるという考え方が一つ。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。

48	**支援としてこの児童手当を、私は据えるべき**	そしてもう一つは、あー、やはりこの児童手当の、ある、ある種一つの限界というのは、まあ、前年度の所得によって給付が決まってくる、いうことによって、あー、例えばコロナで家計が急変してもですね、前の年度の収入があるということで、えー、所得制限がかかりですね、えー、児童手当を受け取れないという世帯も出てくる。 やはりそうすると、おー、今の生活の苦しみに控除が何も寄り添えないということにもなってしまうということで。 コレハ＊、子供の育ちの基本的な。 【自分】えー、支援としてこの児童手当を、私は据えるべきだ、という考え方からですね、こういった形にさせていただきました。	[47]「子どもに対する支援はできるかぎり普遍的であるべき」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
49	**ベーシックサービスを行きわたさ、らせるということが、優先すべき**	【自分】あの、もう一点、えっと、財源の話なんですけれども、えー、この経済的支援の拡充と予算の確保ということをすると、えっと、どれぐらいの、年間で予算が必要になり、それをどう賄うという計画なのか、その点教えてください。 【自分】＊、政調会長、もしあれでしたら、よろしいですか？ はい。 【自分】はい、はい。 えっと、ご質問は、これ全部チュウ＊ことですか？ 【自分】えっと、全部だとあれなんで、教育のところに特化し＊。 【自分】＊、子供の。 【自分】あ、教育のとこだけ？ 【自分】はい。 【自分】えっと、ちょっとごめんなさいね。 3兆円ちょっとかな。 大学の無償化で約1.8兆円。 それから、高校無償化の所得制限撤廃で500億。 義務教育の給食無償化で4600億。 児童手当の高校までの延長、金額の積み増し、所得制限の撤廃で約1兆。 え、児童扶養手当の加算で、い、1130億。 いじめ虐待問題への対応で34億。 国のカケンヒ＊の関係で、ま、2400億。 えっと、さんてん、3.7兆ぐらいになると思います。 【自分】それどう賄い＊？ 【自分】はい？ 【自分】どうやって＊？ 【自分】えっとですね、財源については、公約集の18ページの下段に、歳入改革について触れております。 ここでやはり、所得税の累進性の回復、そして法人税の＊負担、え、これらについて議論していくと、金融所得課税のそうごうか含めて。 ただ、当面のところ財政健全化なり、その年々の歳入の帳尻合わせを最優先し、して議論するつもりはありません。 あの、まず給付をしっかり届けて、ベーシックサービスを行きわたさ、らせるということが、優先すべきことだという考えです。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
50	**国債も含めて、あの、財源的にそうしたことを、ま、使っていく**	【自分】あの、教育国債の発行というのは、えっと、私の記憶だと、代表もおっしゃってたような気がするんデス＊。 これどっか盛り込まれてます？ ちょっと見つからなかったんですけど。 【自分】＊。 【自分】えっと、言葉として教育国債というネーミングは、あの、あえて入れてませんが、さっき申し上げた意味では、とにかく給付をまず先行させるという意味で、国債に、ま、当面頼るということはあり得ることだと。 ま、ただ中長期でしっかり歳入改革議論していくという立場です。 【自分】＊。 【自分】教育国債を発行するというのは、えっと、掲げられない＊？ 【自分】あの、わざわざ教育国債というネーミングはしてませんけれども、当面国債も含めて、あの、財源的にそうしたことを、ま、使っていくというか、それは否定してま、いません。 【自分】ナルホ＊。	[49]「ベーシックサービスを行きわたさ、らせるということが、優先すべき」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。

51	**具体的なネーミングについては、わざわざ、あの、ゲンテイ＊してはない**	あ、ごめんなさい、えっと、この前のインターネットの番組でも代表、教育国債っておっしゃってたような気がしたんで、これ、あの、言わなくなった理由はなんで＊？ 【自分】えっと、党内に、やっぱりいろんな議論がありましたから、あの、わざわざ教育国債という必要ないんじゃないか、という声もあり、あの、そうした、具体的なネーミングについては、わざわざ、あの、ゲンテイ＊してはないということです。 【自分】あ、はい。 わかりました。	[50]「国債も含めて、あの、財源的にそうしたことを、ま、使っていく」についての理由・ニーズ		
52	**建て替え、リプレースについてのお考えはどうでしょうか**	【自分】＊新聞のソデヤマ＊です。 ニ＊点お伺いしたいんですが、一点目は原発なんですけれども、新増設を認めないとありますが、これは、建て替え、リプレースについてのお考えはどうでしょうか？ 【自分】えっと、一点？ 【自分】まず一点。 【自分】ハイ＊。 【自分】ハイ＊。 【自分】はい、どうぞ。	[55]「近い将来化石燃料や、原子力発電に依存しない社会を目指す」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
53	**コアと中道のバランスというのをどのように、トッタ＊のか**	【自分】もう一点なんですけれども、えっと、代表、二月の党大会で、コアをかためながら中道の立ち位置までウイングを広げるとおっしゃっていました。 えー、今回のこの公約ですと、ま、安全保障なんかについては、えー、わりと中道向けだったと思うんですけれども、コアに関しての部分なんですが、例えば自衛隊の9条の明記するという自民党案には反対するということが盛り込まれていますけれども、そのあたりの、この、コアと中道のバランスというのをどのように、トッタ＊のかというところを聞かせていただければ。	[54]「立憲民主党は自民党に代わり、我が国の政権を運営」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
54	**立憲民主党は自民党に代わり、我が国の政権を運営**	【自分】はい、あの、ま、二件あった、二件目の方私答えて、一件目の方はあの、これまでの経緯少し、あの、政調会長に話をしてもらいたいな、と思います。 えー、ま、コア、中道、ひとつひとつこれがコアでとか、これが中道でと、いうふうなことしているわけではないので。 ま、全体としてというか、ま、我々、あの、先ほど話をしたように、どこ向けに何ということではなくて、あの、考え方としては、当然、立憲民主党は自民党に代わり、我が国の政権を運営していくということを前提とする政党であるということを内外に宣言をしていますので、ま、その意味で、あの、当然現実的に、えー、必要なものについては、ま、書き込みをしていくということになりますので。 ま、そういう表現で全体を、あの、作らせていただいたということに尽きます。 【自分】はい。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
55	**近い将来化石燃料や、原子力発電に依存しない社会を目指す**	【自分】はい、えっと、原子力政策ですが、公約集の15ページの下段をご覧いただきたいと思います。 ここに原子力発電所の新増設は認めませんと、明記しておりまして、これには基本的にリプレイスを含むという理解であります。 あくまで2050年に向けて、もちろん、当面エネルギーの安定供給に勤めるわけですが、近い将来化石燃料や、原子力発電に依存しない社会を目指すということを明記しておりますので、その前提でご理解いただきたいと思います。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。

56	**安倍政権においての、対露外交というのは大きな誤りがあった**	【自分】そろそろ、公約の、＊＊＊、をまとめていきたいと思いますが、あー、では、フランステン＊さん、それから、あー、ニッテレさん、まずいきますか。 【自分】えっと、フランステン＊の、えっと、フランステン＊の、オイカワ＊です。 えっと、マスクはアメリカ製の、おー、透明マスクでございます。 あの、街頭演説される際、えー、聴覚障害者向けに、えっと、透明マスクをお勧めします、マウスシールドとは違います。 えー、3ページ目です。 えー、もっと未来、良い未来に向けともに歩みましょう、というのは、えー、誰に向けて、えー、おっしゃってんのかと、ま、ウラジミールと同じ未来を見ちゃう、見ちゃって、かけて、かけて、かけ抜けると、とんでもない結果になっちゃいますが、いかがでしょう？ 【自分】ありがとうございます。 あの、我々がやっぱりここで、えー、ともに歩みましょうというのは、えー、この我が国に暮らす国民の皆さんだということになります。 ですから確かに、あの、外交の中でですね、各国首脳との信頼関係というのは大事ですが、まあ、安倍政権においての、対露外交というのは大きな誤りがあったと思います。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
57	**総括、これはやっぱりやっていかなければならない**	ま、かつて、あの、一帯一路に対してもですね、えー、非常にこう、前向きな、ま、言葉を安倍総理も出したことがありましたけども、ま、そういうものの総括、これはやっぱりやっていかなければならないと思います。 岸田政権においては、あー、そういった後ろめたさがあるのか、ロシア、中国とほとんど今度は何も語らなくなってしまっているということは問題であるとは思います。 ただ、あの、ここで書いている我々の、もっと良い未来向けともに歩みましょう、というのはまさにこれを手に取っていただく方々。	[56]「安倍政権においての、対露外交というのは大きな誤りがあった」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
58	**それは、あの、自民党さんに聞いて**	【自分】ア＊、国民の皆様に対して言っていると言うことになります。 はい。 【自分】ありがとうございます。 え、続いて、えっと、予算委員会でも説明、え、していらっしゃいますが、アベノミクス。 え、新三本の矢、あったの覚えてらっしゃいます？ もう、意味不明で忘れてたんですが。 【自分】はい、それで、ご質問は？ 【自分】＊、質問の趣旨を明確に＊。 【自分】あ、すいません。 新三本の矢が、また、旧三本の矢に戻ったっていうことなんでしょうかね？ 【自分】いや、それは、あの、自民党さんに聞いて＊。 【自分】はい、わかりました。 【自分】はい。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
59	**軍縮政策、どのようなものを考えていらっしゃるのか**	【自分】続けまして、えっと、36種類あるピンクの、ピンク色のうちの1つで書かれた、防衛費について。 で、ま、防衛費については、え、えっと、防衛費を国土の面積で割ると、ま、日本は突出しています。 えっと、軍縮ですね。 え、軍縮政策、どのようなものを考えていらっしゃるのか、え、お伺いできればと思います。 【自分】はい。	[60]「日本政府がやっぱり主導していく必要が」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
60	**日本政府がやっぱり主導していく必要が**	あの、ま、大きくは、核軍縮、そして、一般兵器の軍縮、また、あ、さまざまな危険な兵器についての、ま、使用を禁止する条約などですね、ま、国際社会の中、あ、国連の各機関等々も通じてですね、え、日本政府がやっぱり主導していく必要があると思います。 昨日も、あの、核兵器に関した、あ、条約のですね、会議が行われて、ま、そこでも日本政府も発言をしています。 あの、こういった取り組みを、お、具体的に、より、スタッフも増強したりですね、しながら、強めていくべきじゃないかと思います。 【自分】＊＊＊。	起点となる話題	✓	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。

61	**定額ということでの無償化**	【自分】えっと、教育無償化、え、ま、高校授業料無償化、所得制限なし、となると、ま、あの、府知事が大阪では、大阪だけ、え、高校授業料無償化実現できてると仰ってますが、ベネッセコーポレーションの調べによると、私立高校の授業料は、えっと、大阪が一番高いということで、え、私学も入るのか、そして、就学支援金、これによって、え、だいぶ、大阪は、あの、一番高くなっちゃうんで、え、就学支援金はどうなっているのか伺えればと思います。 【自分】＊さん、もう一問も、ご質問下さい。 【自分】あ、はい。 え、もう一問。 え、キシダ総理は聞く耳を持つ。 え、立憲民主党は、青空集会で、え、聞く耳を持つ。 え、オガワジュンヤ先生においては、あ、2003年から、ま、当時は、車座集会でしたが、ずっと、言行一致でなさっていると。 さて、どちらが聞く耳を持つだとお考えでしょうか？ 以上です。 【自分】はい、あの、高校授業料の無償化についてはですね、あの、当然、各私立高校も含めれば、学費が異なっていきますので、え、定額ということでの無償化。 ま、そこを超える分というのは、あの、一部、自己負担が出てくるということになるわけであります。 え、そして、え、ま、聞く力はですね、あの、我々、あの、立憲民主党の方が上回っていると。 最近、特に、やっぱり、キシダ総理の、その力が落ちているというのを実感します。 【自分】ありがとうございます。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
62	**原発を含むエネルギー政策について、何か緩和**	【自分】＊、そのあと＊のミヤジマさんと、はい、コヤマさんと、続きで。 あ、＊。 【自分】すいません、ニホンテレビのエグチと申します。 エネルギー政策についてお尋ねします。 【自分】ごめんなさい。 何ディー＊？ 【自分】エネルギー政策についてお尋ねします。 【自分】あ、エネルギー政策、はい。 【自分】えっと、ウクライナ情勢を受けて、＊のエネルギーの資源の輸入禁止など、え、あの、ありますが。 【自分】あの、エネルギーの安定供給が喫緊の課題となっている中で、あの、こうした情勢を受けて、ま、原発を含むエネルギー政策について、何か緩和した点があれば教えてください。 【自分】はい。	[64]「安全性が問われるわけですので、あくまで我が国の基準」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
63	**使うべきという声もあれば、一方で**	ま、このウクライナ情勢において、えー、原子力発電っていうのは両面あって。 ま、あの、化石燃料の、ま、流通が滞り、エネルギー価格が上がるので、ま、使うべきという声もあれば、一方でやはりザポリージェ、ザ、ジャですか、あー、原発、あるいは、ま、チェルノービリとかですね、えー、そういう形で攻撃を受けるということでの危険性のことが指摘をされている。	[64]「安全性が問われるわけですので、あくまで我が国の基準」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
64	**安全性が問われるわけですので、あくまで我が国の基準**	ま、ですから、あの、少なくとも今我が国のですね、えー、規制基準を何か緩めたり、手続きを、おー、飛ばす形で、えー、再稼働をするなんていうことは、私はあってはならないと思います。 あくまで、我が国は、これ、これもですが、あの、各国それぞれ、えー、地理的環境、全く違うわけですよね。 フランスの原発と日本の原発をただ同じにすることはできなくて、地震多発地帯であったり、津波の想定地域であったり、いうことも踏まえて、我が国としての、えー、安全性が問われるわけですので、あくまで我が国の基準っていうのは厳格でなければいけないと思います。 で、そういうことからして、あの、おー、ウクライナ情勢が起きたから原発を何かするという発想そのものはですね、私は無理があると思います。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
65	**中長期的にやはり考えると、再生可能エネルギーの比率**	そして、中長期的にやはり考えると、再生可能エネルギーの比率をいかに高めていくか、また、省エネルギーをいかに技術革新を、あの、促進させるか、こういうことのほうがですね、ま、かつてオイルショックの時に我が国が、あー、さんごぎ、産業技術が格段に、ある意味進化を遂げたことと同様に、えー、これからの社会必要になってくると、そう思っています。 【自分】ありがとうございます。	[64]「安全性が問われるわけですので、あくまで我が国の基準」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。

66	**農業分野の公約について**	【自分】えっと、ニホンノウギョウ新聞のマツモトと申します。 あの、農業分野の公約についてなんですけれども、えっと、あの、水田活用の直接支払交付金、この法制化を掲げてらっしゃると思うんですが、この、あの、背景というか、狙いについてお考えを伺いたいというのが1点と。 あと、戸別所得補償の復活というのも掲げてらっしゃいますけれども、この、あの、財源をどのぐらいと見てらっしゃって、それをどう賄うか、これについてもお願いいたします。 【自分】はい。	[68]「直接支払交付金をですね、法制化、コウキュウ＊化という結論」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
67	**制度の安定性を高めていくということが大事**	えっと、財源のところは、またちょっと政調会長のほうで、あの、答えていただきたいと思いますけれども。 ま、あの、水田活用直接支払交付金はですね、全国の農業者に大きな混乱を与えたと思います。 で、ま、あの、さまざま、ま、米の生産の、ま、調整というかですね、えー、中で、野菜、品目を作ると、おー、いう中で、現場の実態に合わない、いー、ただ、ま、急なですね、方針転換というものが行われてしまうと、計画していた、ま、農家農家のですね、それぞれの収支も狂ってまいりますし、えー、こういうことでは先行きが、あー、不透明になってしまうと。 ま、ずいぶん我々も、えー、北海道、青森、さまざまな地域のですね、えー、農業者、私も実際に視察をしたり、また、全国からの話を伺ってきましたが、あー、やっぱり制度の安定性を高めていくということが大事だと思っています。	[68]「直接支払交付金をですね、法制化、コウキュウ＊化という結論」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
68	**直接支払交付金をですね、法制化、コウキュウ＊化という結論**	ということで、我々としては、この、おー、直接支払交付金をですね、法制化、コウキュウ＊化という結論にたどり着いたということになります。 財源については、政調会長から。 【自分】はい。 えっと、かつての一反あたり15000円を復活させるということを前提に、年間で1400億円を予定しております。 【自分】＊で、なんかあるんですか＊？ 【自分】せん。 【自分】先ほど、教育予算のところでも申し上げましたが、1対1対応の財源確保は、ここでは明記していません。 あの当面、国債含めて、様々な財源を確保しつつ、中長期で所得税、法人税、え、含めて、歳入改革を進めていくと、いうのが基本的な立場です。 【自分】ありがとうございます。 【自分】ミヤジマさん、どうぞ。 【自分】え、バクタ＊のミヤジマです。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
69	**リアリズムは、その辺が足りないんじゃないかと、私には見える**	あの、えーとこの、生活安全保障というスローガン、その分配政策のとこは、よく分かるんですけれど、ま、国民の目線で言いますと、やはり最も関心のあるのは、やっぱり食料とエネルギー。 え、これがやはり値段が上がって、え、日本は買い負けるというか、そういう心配があると思うんですが、この問題について、え、どこまで、あの、リッケンさんが考えてるかというのが、私は、この標語に魂が入ってるかどうかだと思うんですが。 例えばエネルギーですね、これ、先ほどおっしゃってるように、その再生エネルギーまで行くト＊、途中でですね、やはり原子力を含めて、国策としてですね、ある程度動かさなくちゃいかないと、いう話もあるわけですけどね。 国策としてね。 【自分】えと、すいません。 え、国策として、何をしていかなきゃ？ 【自分】え、動かしていく＊。 【自分】動かしていかなきゃ、はい。 【自分】動かしていくようなことを当然言ってるかと、皆言ってるわけですけどね。 いや、1歩もこのエネルギー有事みたいなものについて、えー、リッケンは、この有事になっても、お、どこまでお考えになってんのか。 もちろんあの、原発を動かしていいと、私は思ってるわけじゃないんですけどね。 その辺のところがないと、結局やっぱり、なんかリアリズムは、その辺が足りないんじゃないかと、私には見えるんですけど。 あの、そのエネルギーの議論なんかは、やっぱり、全く以前と変わらないんですね、基本的に＊。 【自分】はい、ありがとうございます。 ま、あの、エネルギーもですね、受給っていうのは、常に変わってますので、何か以前と変わるとか変わらないではなく、当然安定供給への対応は、ま、していかなければいけません。	[70]「原子力に依存をする形ではない、え、方策」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。

70	**原子力に依存をする形ではない、え、方策**	で、あの、例えば、あ、ウクライナ、あ、侵略が起きた初期の頃にですね、バイデン大統領が、ま、日本側にも要請をして、備蓄を一部放出をすると、いうこともありました。 まああの、今、あの、石油の、おー、化石燃料の供給は、逼迫をして、価格は上がっているけれども、日本が確保できていないわけではない、ということがひとつ。 え、そして、あの、この冬だとかもですね、あの、電力不足という話があって、1度、あの、前回、えー、都市部でですね、あの、もう明日にでも、電力の制限がかかるというようなことが起きた、起きたというかですね、電力会社が発表したことがありましたが、あの時はむしろ、なぜ突然発表するのかと、いうことが指摘を受けたわけでありまして。 あの、電力不足に対応するということについては、私は日本国民、え、日本の事業者。 あー、もっと意思疎通ができればですね、取り組みが事前にできる力があると思っています。 ま、そういった意味では、あの、原子力に依存をする形ではない、え、方策というのもですね、ま、十分我が国の電力を支える、う、方策としては、実現可能だと、ま、そういう立場に立っております、はい。 【自分】コヤマ＊さん、どうぞ。 【自分】＊、コヤマです。 よろしくお願いいたします。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
71	**環境エネルギーのところに書かれている、未来世代法の制定**	えと、この中でちょっと目を引いたものに関して、あの、詳しくお伺いできればと思いました。 ひとつは、え、環境エネルギーのところに書かれている、未来世代法の制定というものです。 えと、1行、あの、ご説明ありますけれども、できればもう少し、あの、具体像が分かるようにお話いただければと思います。 え、それから、え。	[73]「未来世代の立場から検証して、そして、提言」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
72	**もう少し、詳しい情報が知りたいので、ええ、ぜひ**	【自分】＊ジュウバンノ＊、政治、行政改革のページ、18ページですが、ええ、こちらで、独立財政機関の創設とあります。 と、こちらも、ええ、中長期的な観点から、財政を調査、評価するためということで、ええ、こちらの、財政機関の名前まで、決めてあるということなんですけれども、まあ、こちらについても、あの、もう少し、詳しい情報が知りたいので、ええ、ぜひ、お願いいたします。 【自分】はい、詳しい情報、政調会長からで、では、はい。 【自分】はい、ええと、ご質問、ありがとうございます。	[74]「財政の健全化に向けては、非常に、重要な一歩」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
73	**未来世代の立場から検証して、そして、提言**	未来世代法ですが、ヨーロッパ諸国に、例があるとお聞きしていまして、今回、環境調査会で、この考えがまとまったものを受け、公約に明記しております。 中身としては、たとえば、ウェルズ＊で、将来世代委員会というものを、設けるんだそうです。 で、そこには、おそらくですが、若い人たちが集って、交通政策から、医療政策まで、まあ、環境エネルギー分野だけじゃなくてですね、公共政策の30年先の影響を、しっかり、未来世代の立場から検証して、そして、提言を行う。 ですから、げんえ、現世代の、その、利害だけで、政治が将来の利益を、つい、食いつぶさないように、今、日本は、そういう傾向が、顕著だと思いますが、そういう社会の意思決定の仕組みを、変えていこうというのが、この、未来世代法の構想であります。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
74	**財政の健全化に向けては、非常に、重要な一歩**	それから、国の財政に関しても、たとえば、毎年のように、政府が、中期の財政見通しとか、税収見通し発表してますが、鉛筆なめているんじゃないかという、疑いを持つことは、多々あると思うんですね。 で、そういうことを、許さないためにも、ちゃんと、立法府のもと、国会のもとに、中立の観点、また、長期的な観点から、きちんと、経済、税収の見通しを、客観的に、中立的立場から行っていただく、これが、財政の健全化に向けては、非常に、重要な一歩ではないかということで、これも、諸外国に例があると思います。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
75	**被選挙権の引き下げについて、書かれています**	【自分】アリガトウ＊。 【自分】テレビトウキョウ＊、シノハラ＊と申します。 あの、セイジギョウザイセイカイカク＊のところが、被選挙権の引き下げについて、書かれています。 あの、この、被選挙年齢をですね、18歳に引き下げることによって、この、政治や民主主義にですね、どのような変化が起こると、期待する、ヨ＊、と考えられてますでしょうか？ またですね、引き下げをする場合に、この、参議院と都道府県知事も、同じ年齢に引き下げるということも、選択肢たりうると思うんですけれども、現行と同じくですね、この、2つについては、5歳上に設定している、その、意図を教えてください。	[76]「多様な、ああ、視点からの議論の行うこと」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。

76	**多様な、ああ、視点からの議論の行うこと**	【自分】はい、あの、私もですね、あの、この、被選挙権年齢は、引き下げというのはですね、非常に意味があると思っています。 それは、あの、議会というのは、ああ、タセダイ＊、そして、さまざまな背景を持った方々が、多様な、ああ、視点からの議論の行うことによってですね、ええ、より、議論は深まっていくし、答えにも、深みが出てくるものだと思っています。 あの、選ぶのは、当然、有権者ということになりますから、有権者が、選ぶという意味で、あの、若い方だからですね、いい加減な方が出てくるということには、ならないと思いますので、私は、ぜひ、これ、実現をしていきたいと思っています。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
77	**参議院に求められる、シュウギン＊や、一般議会と、違う観点**	あの、参議院と都道府県知事について、ええ、現行と同じく、5歳引き上げているというところはですね、まあ、トウナイ＊で、まあ、さまざま、たとえば、参議院に求められる、シュウギン＊や、一般議会と、違う観点ですとか、あるいは、都道府県知事に、求められるものがあるという、主張も。	[76]「多様な、ああ、視点からの議論の行うこと」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
78	**1万点を超えるですね、え、物価高になっている**	【自分】ありですね。 え、現時点では、あ、こうした、ああ、2つの基準を設けさせていただいてるという事になります。 【自分】すみません、公約については、ここで一区切りさせていただいて、政調会長から＊＊＊。 【自分】はい、政調会長ありがとうございました、はい。 【自分】この後あの、すでに＊ご周知している通り、ダイヒョウモ＊12時以降も街頭に出る予定がありますので、え、後半の一般部分は、あ、かん、え、簡潔にご質問いただきたいと思いますが。 代表からも短めに何かボウトウ＊があれば、お願いします。 【自分】はい。 え、では、あの従来の会見させていただきます。 今日あの午後からですね、え、参議院予算委員会集中審議、え、我が党は1時半からフクヤマテツロウ議員、そして2時15分からハクシンクン議員という事になります。 え、我が党の姿勢を明確に示しつつ、今の政権の不足してる点を明らかにしていきたいと思います。 え、やはりこの先程話しましたが、データバンク、帝国データバンクで、まあ1万件を超える、1万点を超えるですね、え、物価高になっているという事で。	[79]「まだ価格転嫁がしにくい国と言われている事も影響」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
79	**まだ価格転嫁がしにくい国と言われている事も影響**	岸田総理は、あのヨーロッパに比べれば、日本のちん、あの、日本の物価高がまだ低いというような言い方してますが、これはそもそも我が国、まだ価格転嫁がしにくい国と言われている事も影響しているわけで。 え、さも政府の対策が効いたかのように言うのは、これは大きな間違いであるという事だと思います。	[84]「10時にネット投票法案を提出いたしました」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
80	**党首討論、え、これをやはり行うべきだという事を主張**	え、そしてですね、え、この参議院の集中審議で、え、今後の国会の動きになってくわけですが、まあ我々からはですね、主に1つはいわゆる党首討論、え、これをやはり行うべきだという事を主張して、え、おります。 ええ、先日の岸田総理との予算委員会のやり取りを見ても、やはり議論不足というかですね、総理の考えをもっと正さなければいけない、そう思っておりますので、党首討論を求めていく、え、これが1つと。 参議院の決算委員会の締めくくり総括質疑ですね、え、これはまあ当然行われるべきものでありますので、え、この実現を目指してまいりたいと思って、え、おります。	[84]「10時にネット投票法案を提出いたしました」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
81	**今国会中に結論を得る**	またあの旧文通費、調査研究広報滞在費については、今11時から行われている協議がありますけれども、まあ国会会期ももう迫ってきて、え、おります。 あの今日結論が出るものではないと思うんですが、まあ10回目ですかね、という事ですので、え、今国会中に、今国会中に結論を得ると、自民党国対委員長もこの使途公開や国庫返納について、え、述べてきておりますので、そこはしっかり守っていただく必要があると思っております。	[84]「10時にネット投票法案を提出いたしました」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
82	**リーダーシップを担ってきたという事もふまえて、え、我々、立憲民主党も協力**	またあの6月19日に令和臨調が、ああ、発足大会を開くと、私もそこに参加をいたします。 え、これまでもあの、元号毎にというかですね、臨調が様々日本の政治改革、社会構造改革に力を入れ、え、またそのリーダーシップを担ってきたという事もふまえて、え、我々、立憲民主党も協力をしていきたいと思っています。	[84]「10時にネット投票法案を提出いたしました」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。

83	**ホソダ議長の発言についてですけども、議運で説明を求めています**	またあのホソダ議長の発言についてですけども、議運で説明を求めています。 まあ10増10減の話、まあそして最近の様々な報道、週刊誌報道等も含めて、議運での説明を求めていますが、未だ一向に、え、前向きな反応がないという事見まして、え、我が党のですね、ジェンダー本部として、え、各党の議員の方々と議長へ申し入れをするという予定となっております。 まあ議長には、やはり一刻も早く説明をしていただきたいと思っておりますし。 え、昨日もお話しをしましたけども、まああのいわゆるセクハラという事であれば、まあこれはあの自民トウ＊。 【自分】＊の中での調査というものも当然、えー、組織として行っていただく必要もあるのではないかと、こう、人権を守るという意味でですね、えー、これもやっていただかなければいけないと思います。	[84]「10時にネット投票法案を提出いたしました」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
84	**10時にネット投票法案を提出いたしました**	またあの、昨日は、えー、正社員を増やした場合の社会保険料助成法案、えー、そして、えー、ね、本日はですね、10時にネット投票法案を提出いたしました。 ま、立憲民主党、もうこの政策提案型というのは、ま、これまでもやってきていることですけども、えー、こうしたことも引き続き、え、われわれ取り組んでまいりたいと思います。 まず私から以上です。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
85	**基本的には国対に聞いていただく**	【自分】ご質問のある方は挙手をいただけますか？ ヨミウリサン＊どうぞ。 その次に朝日新聞さんどうぞ。 【自分】読売新聞のキタムラです。 あの、細田議長の件で、あの、一部報道で7日にも不信任決議案を立憲民主党が提出する方針を確認したと出ているんですけれども、このテノ＊事実関係をまず確認できればと思います。 【自分】えー、そこは国対がですね、あの、基本的に主導してというか、あ、国対の中で戦い方をあれしてますので、ま、あ、基本的には国対に聞いていただくのがヨイカト＊思います、はい。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
86	**議長の説明以外に手段はない**	【自分】えっと、あと先ほどおっしゃっていた、あの、申し入れの件でですね、あの、会期中の説明について議長から、今日回答がなかったということでした。 ま、この点も含めて、ま、議長のシシツ＊について、代表としてどのように考えてらっしゃるか改めてお願いします。 【自分】まあ基本的に議長の言葉や行動から発生していることですので、議長の説明以外に手段はないと、ソウオモッテ＊います。	[83]「ホソダ議長の発言についてですけども、議運で説明を求めています」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
87	**大々的に求められるタイミングとしてちょっと遅かった**	【自分】えっと、朝日新聞のキハラです。 すいません、手短に、あの、党首討論のことで伺います。 えっと、党首討論をまとめるということを先ほどおっしゃいましたけれども、あの、ちょっとですね、ま、この終盤ホウカイ＊になってきて、えっと、ま、大々的に求められるタイミングとしてちょっと遅かったのかなというふうにも思うんですが。	[88]「予算委員会というものを優先せざるをえなかった」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
88	**予算委員会というものを優先せざるをえなかった**	このタイミングになった理由、何かありますでしょうか？ 【自分】あのー、ちょっと遅かったとは、あの、あまり思ってなくてですね、あの、基本的にはあの、衆議院予算、あ、衆議院じゃない、すいません、参議院、衆議院の予算委員会ですね。 あの、これは党首討論の、ある意味、制度的改善が必要な点だと思うんですが、あの、私も自分が議運であった時に、うー、トータル45分間という総枠しかないというのは、あまりに短いと。 予算委員会であれば当然、まあ、4時間、7時間という時間を確保するのに、党首討論は全ての政党の合計時間が45分しかない。 で、これではですね、議論が煮詰まらないですね。 で、そういうことを含めて、われわれはやっぱり与党に、この党首討論の改善を求めたいと思いますし、まああの、そういう中で、どうしても実のある議論をしようと思うと、予算委員会というものを優先せざるをえなかったという事情があります。	[80]「党首討論、え、これをやはり行うべきだという事を主張」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
89	**一国会、少なくとも一回開いてですね、え、そしてさらなる運用の改善**	ま、さはさりながらで、私はこの党首討論という制度はですね、あの、国会が合意を表してつくった以上は、有効に機能させる努力をするということが絶対に必要だと思います。 で、その意味ではやはり、あの、一国会、少なくとも一回開いてですね、え、そしてさらなる運用の改善を図っていくということも必要ではないかと思います。	[80]「党首討論、え、これをやはり行うべきだという事を主張」についての理由・ニーズ		

90	**是非開くべきだと思います**	【自分】じゃあ、あの、今おっしゃっていただきましたけど、現行のその仕組みの中で、党首討論をやることの意義、その、今の党首討論の、その、まあ、意味合いというか、あ、やることの意義、意義付けについて、代表今どう考えてますか？ 【自分】あのー、当然、他大臣が答弁をすることのない党首同士の討論ですので、えー、他の委員会にはない、また総理もあの、いわゆる総理という立場に加えて、総裁、自民党総裁という立場で、ま、答弁が、あー、行われるわけですので、ま、そういったところだからこそ、やり取りできるものもあると思いますので、まあそういったところをまず重視をしたいということ、そして。 【自分】え、えー、この党首討論が45分でもし終わればですね、おそらく見ておられる国民の皆様は、何かしらの不足感というか、う、こんなに短いんですかという風に思われると思うんですね。 私はそれも大事だと思います。 だからこそ、党首討論そのものを改善しようという機運が高まることにもなる。 開かなければ何もわからないということでもあると思いますので、是非開くべきだと思います。	[80]「党首討論、え、これをやはり行うべきだという事を主張」についての理由・ニーズ		
91	**他の選挙区では、あの、ま、競合するところも、ま、結構残る**	【自分】ソレモソノアト＊一言二言で終わりますが、じゃ、マイニチさんとニッケイさんでキョウシュウシマス＊。 【自分】えー、マイニチ新聞のミヤハラです。 えっと、選挙区調整の関係で、ええと、共産党のコイケ書記＊長が昨日ですね、記者会見されて、で、一応12の選挙区について＊の＊をクル＊と。 ただ、一方で、あの、まあ、あの、これまで競合してるところの取り下げっていうところを考えると、まあ、鹿児島の調整っていう事に、ま、なるわけで。 ま、あの、他の選挙区では、あの、ま、競合するところも、ま、結構残るということになりましたけれども、これについての受け止めをお願いします？ 【自分】はい。	[92]「各政党の、まあ、あ、検討のご努力については感謝をしたい」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
92	**各政党の、まあ、あ、検討のご努力については感謝をしたい**	あの、立憲民主党としてですね、えー、3月だったと思いますが、あー、立憲民主党の、おー、ま、基本的な当然綱領や政策というものを、あの、我々としては、あー、前提としながらですね、え、各政党に、えー、この大きな参議院選挙、与野党対決ということを実現していくために、えー、候補者調整を、おー、しようではないかという申し入れを行いました。 ま、その申し入れに基づいて、えー、各政党それぞれで、えー、様々な観点から考えていただいて、えー、努力をしていただいたことと思います。 そういった各政党の、まあ、あ、検討のご努力については感謝をしたいと思います。	[93]「野党による、うー、カイセン＊過半数の確保を目指して」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。
93	**野党による、うー、カイセン＊過半数の確保を目指して**	ま、そういう中で、えー、ま、共産党さんとしても、お、共産党としての取組み、えー、をですね、え、発表されたという風に伺っておりますので、ま、我々としてはこの与野党対決、うー、そして立憲民主党自身も、え、野党による、うー、カイセン＊過半数の確保を目指していますので、え、その目標に向かって全力を尽くしたいと思います。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。
94	**検討というか、今後見えてくるという**	【自分】すいません、たびたびニッケイ新聞のオオサワです。 政策、あ、公約について＊なんですけれども、防衛費の適正規模はどのぐらいだとお考え。 【自分】あ、もう1回お願いします。 【自分】防衛費の適正規模はどのぐらいだとお考えでしょうか？ 【自分】適正規模。 【自分】はい。 【自分】はい。 【自分】あ、で、あの、いくつかメニューを、えー、揃えられてると思いますけれども。 【自分】はい。 あの、我々は適正規模ありきではなく、あくまで真に必要な防衛力を積み上げていく中で、えー、どういった額になっていくかというところを、おー、スタートラインなり基準なりに考えています。 【自分】＊その積み上げていく中で、あの、検討というか、今後見えてくるという？ 【自分】当然、あの、これまでもそうでしたし、これからもそうあるべきだと思います、はい。	[95]「優先度の高いところから、え、整えていく」についての具体的説明	◎	適切な量の具体的な説明です。

95	**優先度の高いところから、え、整えていく**	【自分】あの、国と政府はですね、弾薬の、ま、あの、確保というところで備蓄についても予算が足りないと主張していますが、その点についてはどうお考えでしょうか？ 【自分】私もかつてですね、ま、そのイージスの議論を国会でした時に、やはり、そのミサイルについて足りているのかという指摘をしたことがあります。 まあ、ですので、あの、備蓄という考え方は一つあり得ることだと思いますね。 ただ、いずれにせよ、あの、防衛費だけ、あの、なんのキャップもなくですね、増やせるわけではないと思いますので、え、そこは当然国家予算を、おー、作っていく段階で、え、各省庁からの要求の中で、え、当然優先順位も決められていきますので、えー、まあ、やはり優先度の高いところから、え、整えていくということになると思います。 【自分】優先度っていうのは＊？ 【自分】＊防衛費の中でモタセテ＊、はい。 【自分】＊先ほど、ああ、カレ＊。 【自分】はい、大変申し訳ありません。 次の＊がありますので、これで終了させていただきます。 ありがとうございました。 【自分】はい、ありがとうございます。 【自分】大阪＊は、6月1日から大阪いらっしゃいになってて、京都の方も対象で。	起点となる話題	✔	この話題に対して、なぜそれを勧めたいのか、背景理由などを伝えましょう。相手の心を動かすプレゼンになります。